

2020

福島大学 大学概要

FUKUSHIMA UNIVERSITY
OVERVIEW AND STATISTICS



あなたの学びが
地域の力になる



目次 Contents

1… 学長メッセージ Message from the President	19… 卒業生数及び修了生数 Number of Graduates
2… 福島大学将来ビジョンの策定に向けて For the Future Vision Fukushima University	21… 卒業生就職状況 Employment After Graduation
3… 福島大学ニュース Fukushima University News	22… 外国人留学生数 Number of International Students
5… 沿革略 Chronology	奨学生 Scholarship Students
7… 組織機構図 Organization Structure	附属学校の定員及び現員 Off-Campus K-12 Schools
運営組織図 Governing Structure	23… 収入・支出決算額 Closing Accounts : Revenue and Expenditure
8… 学群・学類・研究科・学系 Educational and Research Systems	24… 科学研究費助成事業 Grants-in-Aid for Scientific Research
13… 国際交流 International Exchange	外部資金 Funds from Other Sources
15… 歴代学長 List of Former and Current Presidents	25… 学術刊行物 Academic Publications
16… 役職員 Administrators	学内施設等 Campus Facilities
経営協議会委員 Management Council	30… サテライト等 Satellite etc.
17… 教育研究評議会評議員 Education and Research Council	31… 土地・建物面積 Properties
役職員数 Number of Executives, Faculty and Staff	32… 建物配置図 Campus Map
18… 入学志願者及び入学者 Number of Applicants and Enrolled Students	34… 部局等の所在地案内図 Location of Offices
学生の定員及び現員 Number of Students	35… 部局等の所在地及び電話番号 Contact Addresses
	36… 福島大学基金 Fukushima University Fund

福島大学公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」



福島県阿武隈高地の深い森に棲んでいた木の妖精。

2011(平成23)年3月のある日、双葉郡から福島市へ移動する車の列に付いて、知らず知らずのうちに福島大学にたどり着いていました。うつくしまふくしま未来支援センターに住み着き活動を見ているうちに、福島県の人々、特に子ども達を力づけるため活動したいと決意し、2013(平成25)年3月11日、センター長から47人目のセンター員として辞令を受けました。

その後、うつくしまふくしま未来支援センターのみならず、福島大学の取り組みを幅広く地域社会に広報するなどの活躍が認められ、2017(平成29)年4月に「福島大学公式マスコットキャラクター」として任命されました。

- ・年齢：4歳
- ・性別：女の子
- ・誕生日：4月7日
- ・出身地：福島県阿武隈高地
- ・お仕事：福島っ子の応援、福島県産品のPR
福島県の復旧・復興のお手伝い
福島大学のPR



地域と共に 21 世紀的課題に 立ち向かう福島大学

学長 三浦 浩喜

President MIURA Hiroki



福島大学は、昨年創立70周年を迎え、同時に金谷川へのキャンパス移転40周年、そして、福島県民の悲願であった食農学類の新設と既存4学類の再編、そして教育改革からなる「三位一体の改革」を行い「新生福島大学」に生まれ変わりました。

とりわけ教育改革では、本学の教育理念を「問題解決を基盤とした教育」に変え、「解のない問いにチャレンジできる人材」の育成を目標に掲げました。今から9年前の東日本大震災、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故では、福島大学は発災直後から、避難所の開設と運営、県内外での学生ボランティア活動、県内の放射線の測定、被災地の実態調査など、多くの支援活動を行い、これによって大学はたくさんの学びを得ることができました。

新しい教育理念の「問題解決を基盤とした教育」とは、震災復興に関する様々な活動で得た学びを教育課程に組み込んでいくと同時に、教科書の中に閉じ込められた体系的な知識を受け身的に学ぶだけではなく、複雑な現実社会に飛び込み、一人ひとりが自分なりのアプローチで問題を発見し、仲間とともに探究し合い、自分自身の生き方や社会のあり方を熟考してもらいたいという願いがこめられています。

本学は、学類の特色を生かした人材育成、研究者の自由な発想で行われる基礎的・応用的研究、さらには、大震災・原発事故からの一連の取り組みを通じて、地域や国内にその存在感を大きく示してきました。これからは、人口減少や少子高齢化、環境、エネルギー、経済復興、コミュニティの再生など現代的課題に対応できる人材育成をさらに加速させていきます。加えて、研究を集積・深化させ、地域社会の創造的な発展をめざす、「地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学」として、これからの社会づくりに貢献していきたいと考えております。

さて、世界に広がる新型コロナウイルスの猛威によって、人々の健康や社会生活のみならず、国際関係に至るまであらゆる面において深刻な影響を受けております。本学においても、感染拡大を防止しながら大学の機能を維持するため、遠隔授業への転換や本学独自の学生支援、さらには管理運営面においても様々な工夫と対策を行っています。とりわけ、この間地域から賜りましたご支援を目の当たりにし、改めて地域に存立する本学の意味を痛感しております。

福島大学はご恩に報いるためにも、地域の様々な問題解決をリードし、新しい社会を創る大学として、さらに地域との関係を強固に築いていきたいと考えていますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

福島大学将来ビジョンの策定に向けて

FOR THE FUTURE VISION FUKUSHIMA UNIVERSITY

現在、国立大学は第3期中期目標期間の5年目に突入し、新型コロナウイルス感染拡大の大きな影響もあり、第4期を目前にして激動の中にあるといえます。

地方では急激な人口減少が進行中で、労働人口の不足や市場の縮小を引き起こし、それに伴う経済の低迷、社会サービスの質の低下などが懸念され、その一方でAI技術の発展は想像をはるかに超えるものとなっており、まさに世はVUCA*（気まぐれで、不確かで、複雑で、曖昧な）の真っ直中にある、と言えるでしょう。

福島大学は目の前の課題に取り組みつつ、今から20年後の2040年の地方国立大学の将来像を描き出し、それを実現するためのステップや組織の形を構想しようとしています。この構想が、これからの地方国立大学のあり方に影響を与え、社会の持続可能性強化につなげていきたいと考えています。

* VUCA Volatility(変動)、Uncertainty(不確実)、Complexity(複雑)、Ambiguity(曖昧)
の頭文字をつなぎ合わせた言葉で、将来の予測が困難になっている状態を言います。

01 2040年を見すえた福島大学のあり方

(1) 人口減少期を豊かに生きるライフスタイルの創造

「地方創生」がうたわれて久しくなりますが、首都圏への一極集中は緩和されるどころかむしろ加速しており、それに伴って地方の疲弊は年々厳しさを増しています。都市部への集中は、新型コロナウイルスの感染拡大に見られるような新たなリスクを生み出し、国全体の持続可能性を脅かす要因となります。

国の発展は都市と地方のバランスに負うところが大きく、人口急減期にあってはなおのこと、都市型の文化や経済発展を前提とした一元的な価値観から脱し、地方分散型・経済の低成長時代を人間的に、そして創造的に生きていくライフスタイル(生活の様式、人生観)を追究すべきであろうと、強く考えます。

福島大学は東日本大震災、そしてそれにともなう原発事故を経験し、他大学に先駆けて教育や自治体、環境、エネルギー、農業などの様々な問題に取り組んできました。これらの知見を集積させ、「地域と共に21世紀的課題^{*1}に立ち向かう大学」として、現実の問題に取り組む、新しい社会のあり方を提案できる大学になりたいと考えます。そして、人口減少・少子高齢社会期であっても、一人ひとりが豊かに、希望に満ちて生きていけるライフスタイルを創造し、個人のWell-being^{*2}、社会のWell-beingを実現したいと考えています。

(2) 社会づくりの実験室としての大学

これからの大学は、単に学生に特定の知識やスキルを身につけてよしとするのではなく、また、大学の独自性だけを強調して閉鎖的な体質を保身するのでもいけません。社会に開かれ、多くの異質な人々が出会い、これからあるべき社会の姿を考え、それを組み立てていくための思想や価値観、知識や技術、構想力や実践力を身につけさせる必要があります。大学こそが、試行錯誤し、実践と反省を繰り返しながら新しい社会を生み出す「社会づくりの実験室」であるべきだと考えます。

震災・原発事故を経験した本学では、多くの地域復興支援を通して地域との関係を密にし、教員・学生が地域に出向いて現状を学び、そこから根本的な問題へと掘り下げ、チームとなって新しいプロジェクトをつくり、実践し、活動の幅を広げてきました。こうして「解のない問い」に取り組んだ卒業生が、今後、本学で学び得た経験を福島県のみならず、全国に、世界に広げてくれることを期待しています。

新しい社会づくりの実験を行う土壌をさらに確かなものにし、そのための研究分野相互の連携、総合化を推し進めていきたいと考えております。

02 各分野の方向性

(1) 教育の在り方

人口減少期における「新しい社会づくり」、「新しいライフスタイルの創造」の担い手を育てることが求められます。そのためには、文理融合を基本とした基礎的な知識の習得の上に、それらの実社会での応用、地域と世界の問題発見、異世代も含めた異文化コミュニケーション、自文化に対する反省的思考、問題解決に向けた主体的学修などが必要になります。

さらには、東北や福島県の現状や課題を明らかにする数理・データサイエンス教育を推進し、データの収集、分析、考察を行い、確かな根拠に基づいた政策提言ができるよう、STEM教育^{*3}を構築していく必要があります。

令和元年度から実施している「福島大学の新教育制度2019」に基づき、地域の「現実や課題」、海外の「異質」に触れる学修を充実させ、福島大学ならではの教育を展開していきます。とりわけ、震災後10年を経て新しい世代となった学生たちに、この10年間の経験を伝えていくことはもちろん、新たな課題に対応できる教育を行い、そうした人材を輩出することは極めて重要な使命と考えます。

(2) 研究のあり方

「新しい社会づくり」、「新しいライフスタイルの創造」を推し進めていくための研究は、人文・社会・理工の各分野の高度な融合と、幅広い対応力を持つ総合性が求められるため、これまで以上に異領域間の共同研究を進めていきます。例えば、「スポーツと農業」「防災とICT」「グローバルと食」「発酵と医学」のような連携など、さらに可能性を広げていきたいと考えます。

また、各学類において教育と研究が相互環流するシステムを強化することで、学類の強みをより先鋭化するとともに、学術的な研究とフィールドワークなどの実践的な研究とを融合させ、研究同士を有機的に連携させていきます。

研究者個々の研究を重視するとともに、21世紀的課題に対応する研究を政策的に厚くし、環境放射能研究所や発酵醸造研究所(現在検討中)のように、本学ならではの研究を強化し、加えて、国が検討している浜通り地域の国際教育研究拠点にも大学全体として組織的に参入していきます。

(3) 地域貢献のあり方

本学は、震災・原発事故の発災直後から現在に至るまで、長期的な見通しのもとで様々なフェーズに対応し、大学全体として、また個々の有志活動としても、極めて多様に地域を支援してきました。そして今、10年間の活動の総括を行い、高等教育機関としてなすべき地域支援のあり方を整理すべき段階にあると言えます。

大学の地域支援は、単に協力要請に人的資源を提供するのではなく、学生の学びの場であり、研究のフィールドであり、新しい社会のあり方の提言・実験の場であるべきだと考えます。教育・研究・地域支援の重なり合いこそが福島大学のめざす地域支援の形です。加えて、社会の動きを事後的に考察するばかりではなく、むしろ前に回り込んで新しい形を示すことが大学の役割だろうと考えます。

(4) 組織及び運営のあり方

大学に求められる役割が拡大する一方、財政は厳しくなっています。現在の大学運営の形を改善していくことはもちろんですが、10年後、20年後の地域と大学のあり方を構想し、そこから逆算して現在成すべきことを議論するのも重要と考えます。

VUCAの時代にあって、地方国立大学こそが果たすべき役割とは何か、そのためにはどのような機能を強化しなければならないのか、どこをスリム化すべきなのか、これらによってどのようなイノベーションをもたらすことができるのか、真剣に検討すべき段階にきています。

「地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学」としての教育・研究・地域貢献を可能とする体制を担保しつつ、組織運営の改革を推し進めると同時に、県内外の高等教育機関との連携を強化していきます。

03 改革の進め方

2040年を見据えた本学の在り方及び各分野の方向性を踏まえ、本学の持続可能性を確固としたものにし、21世紀的課題に積極的に取り組める大学にするため、教育組織や研究組織の改革を進めていきます。

そのためには、第3期中期目標中期計画期間中にそれぞれの構想をまとめ、第4期を改革の実行期間に位置づけること、改革する対象を相互に関連させ整合性・総合性のある改革プランとしていくこと、構成員の理解と協力を得ながら役員会が改革を主導していくこと、を方針として掲げます。

*1 日本全体の課題でもある少子・高齢化の進展、コミュニティ崩壊、地域の産業活力の低下、エネルギー問題など、震災・原発事故後に福島において加速化された課題

*2 身体的、精神的、社会的にも満たされた状態

*3 "Science, Technology, Engineering and Mathematics" すなわち科学・技術・工学・数学の教育分野を総称する語

福島大学は創立70周年を迎えました!!

～創立70周年記念事業～

2018(平成30)年

- 4月
 - ・大学公式ホームページをリニューアル
 - ・創立70周年記念ロゴマーク発表
 - ・福島大学公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」LINEスタンプ販売
- 5月
 - ・全学再編パンフレット(第2弾)発行
 - ・「福島大学の純米吟醸酒」酒米田植え
- 6月
 - ・創立70周年記念特設サイト開設
 - ・福島大学行政社会学部・行政政策学類 創設30周年記念 クロストーク及び記念祝賀会
- 7月
 - ・リノベーション基金設立
 - ・平成30年度福島大学研究・地域連携成果報告会(白河市)を開催
- 8月
 - ・(作家)中村文則氏と(詩人)和合亮一氏を福島大学応援大使として委嘱
 - ・福島大学公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」がゆるキャラグランプリ2018に出場
- 9月
 - ・(福島ヤクルト(株)会長)渡邊博美氏、(株式会社)三井田健氏、(シンガーソングライター)堀下さゆり氏を福島大学応援大使として委嘱
 - ・70周年記念事業実行委員会 presents いもを煮るかい?開催

- ・創立70周年記念キャッチフレーズ「あなたの学びが、地域の力になる」が決定
- ・福島大学公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」のイメージソングが決定
- ・第11回福島大学ホームカミングデー開催
- ・アクティブ・スチューデントコンテスト報告会開催
- ・新学類スタートアップシンポジウム「食農学類の教育力と研究力」開催
- ・福島大学と文部科学省の共催による「ふくしまの想いを届けよう! 食農マルシェ」(東京)を開催
- ・(株)ピーエィ社長)加藤博敏氏を福島大学応援大使に委嘱

- 11月
 - ・福島市長、学長、学生との特別対談企画「福島未来を語る～若者の活力」を開催
- 12月
 - ・平成30年度福島大学研究・地域連携成果報告会(福島市)を開催
 - ・福島大学教職員OB会「けやき会」設立
 - ・文部科学省広報ひろば企画展示を実施

2019(平成31、令和元)年

- 1月
 - ・ワールドツアー with Fukudai「行きたい!」がここから見つかる一を開催
- 2月
 - ・福島大学地域創造支援センター地域フォーラム「須賀川市地域活性化フォーラム」を開催
- 3月
 - ・創立70周年記念誌「ことだま」発行
 - ・金谷川キャンパス街路灯フラッグ設置
 - ・「福島大学の純米吟醸酒」完成お披露目会
 - ・ブロンズ像「峰」(作: 太田良平)寄贈式
- 5月
 - ・福島大学S棟前広場に「70」の人文文字を空撮
 - ・福島大学公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」のイメージソング「めばえちゃんのうた」CD販売開始
- 7月
 - ・令和元年度福島大学研究・地域連携成果報告会(南相馬市)を開催
 - ・総務課広報係めばえ室がOPEN
- 8月
 - ・福島大学公式マスコットキャラクター「めばえちゃん」がゆるキャラグランプリ2019に出場
 - ・震災・復興展示コーナー「東日本大震災 福島大学の記憶」開設
- 9月
 - ・～朗読座・福島応援公演～「あなたが輝く言葉とメロディー」開催
 - ・イルミネーション「希望のヒカリ」点灯式開催
 - ・福島大学広報DVDが完成
- 10月
 - ・創立70周年・食農学類設置記念式典を挙行政
 - ・展示コーナー「福島民報新聞で振り返る福島大学70年の歩み」を附属図書館に開設(～11/15)
 - ・第12回福島大学ホームカミングデー実施めばえちゃんダンスお披露目
 - ・福島大学校友会「福島大学ファミリー会」設立
- 11月
 - ・「それぞれのヒーローたち」上映会とトークショーを開催
- 12月
 - ・令和元年度福島大学研究・地域連携成果報告会(郡山市)を開催

PICK UP

創立70周年・食農学類設置記念式典

福島大学の創立70周年・食農学類設置記念式典を、2019(令和元)年10月16日に挙行政しました。式典には、亀岡偉民文部科学副大臣や木幡浩福島市長などの来賓の他、近隣の大学長、連携協定を締結している自治体や企業関係者、福島大学食農学類創設に携わった関係者や歴任教職員、OB・OGなど約200名が参加し、農場用地の提供などで貢献していただいた関係者への感謝状贈呈、食農学類の教員と学生による食農学類活動紹介、福島大学「絆会」発足の挨拶と紹介を行いました。

また、式典に先立ち、見城美枝子青森大学副学長による記念講演会、各種基金事業への多額の寄附により大学の発展に貢献された個人、法人等へ感謝状を贈呈する「感謝の会」も開催しました。

会場の外には、教員や学生による福島大学の取り組みをPRするブースも建ち並び賑わいをみせていました。



式典で挨拶を述べる中井学長(当時)



記念講演会の様子



「感謝の会」集合写真



来場者で賑わう出典ブースの様子

創立70周年記念誌「ことだま」発行



2019(平成31)年3月に創立70周年記念誌「ことだま」を発刊しました。本記念誌には、福島大学学生、教職員、附属小学校の児童の70名が震災当時の物語や福島大学の取り組みなどを寄稿しており、執筆者一人ひとりの想いがこもった「ことだま」を感じてもらえるものとなっています。

また、福島市在住の詩人で福島大学応援大使の和合亮一氏がオリジナルの詩「我らの種子を」を提供している他、学内の四季折々の風景写真も多く使用した福島大学の今を感じることが出来る1冊となっています。

福島大学校友会「福島大学ファミリー会」設立

福島大学の現役学生、教職員、卒業生(修了生)、保護者、さらに福島大学にゆかりのある方々との強固なネットワークの礎となるべく、相互の交流と親睦、そしてこれらを通じた福島大学の発展に寄与することを目的とした「福島大学校友会(愛称:福島大学ファミリー会)」が設立しました。

福島大学ファミリー会は、福島大学各学類の同窓会組織、後援会組織に加え、教職員、教職員OB、現役学生、その他福島大学にかかわりを持つ有志の方々が構成されており、各組織体の枠を超えて、卒業(退職)後も「福島大学の一員であり続ける(福島大学ファミリー)」という意識の醸成・教化を図っていきます。

そしてこれからも、この福島において、信頼と存在感のある大学であり続けられるよう努めていきます。

2019年4月新設 食農学類 始動!!

～新たな学び場から地域における食料・農業の課題解決に貢献できる人材育成～

2019(平成31)年4月、福島大学農学群食農学類を開設し、第1期生108名の学生が入学しました。実践的農学をめざす食農学類では、金谷川キャンパス周辺にある実習農場で1年生全員が田植えや稲刈りをし、果樹市場で桃に関するアンケート調査を実施するなど、様々な実践的活動を行い、農業関係者をはじめ多くの方々からエールをいただいております。

そして2020(令和2)年1月、福島市をはじめとした福島大学農学系人材養成組織設置期成同盟会の皆様、その他多くの関係の皆様から多大なる財政的支援をいただき、食農学類研究棟が竣工しました。この新しい学び場からさらに福島県の農業の再生・復興に貢献し、福島から「日本の新しい農業」の可能性を拓く人材の育成に努めていきます。



台風19号水害への福島大学の取り組み ～災害ボランティアセンターの活躍～

2019(令和元)年10月、日本全土において甚大な被害をおよぼした台風19号。福島大学においても、大学の建物自体は無事でしたが、学生・教職員の家屋浸水被害等があり、また、公共交通機関も停止したため、10月12日～18日までの全授業が休講となりました。

台風発生後、福島大学ではNPO法人「FUKUSHIMAいのちの水」と連携し、相馬市へのペットボトル5000本の送付や、学内教職員宛に「台風19号関連災害義援金」の募集を行い、被災した福島大学の教職員や学生、日本赤十字社、(学生団体)福島大学災害ボランティアセンターへの支援を行いました。

また、(学生団体)福島大学災害ボランティアセンターによる、被災地域(福島市、郡山市、いわき市、本宮市、伊達市、相馬市、須賀川市、丸森町)での泥かき作業や家具の運び出し、足湯(傾聴)活動、避難所での食事サポートなど様々な活動が10月13日から開始されました。このボランティア活動については福島大学のホームカミングデーや定例記者会見にて参加学生から報告を行い、多くの反響をよびました。



ペットボトル運搬の様子



ボランティア活動(泥かき作業)の様子

福島大学学長交代 ～福島大学のさらなる改革に向けて～

2020(令和2)年4月より福島大学の学長が交代となりました。

2020(令和2)年3月31日に中井勝己前学長の退任式を挙行し、終了後、三浦浩喜次期(現)学長自身が作成したオブジェ「希望のヒカリ」が贈呈されました。また、同年4月1日の三浦学長の就任式では、就任の挨拶とともに今後の福島大学の改革について述べられました。

中井前学長は2014(平成26)年4月からの6年間、学長として福島大学の舵取りをしてきました。「地域と共に歩む人材育成大学」のスローガンを掲げ、2015(平成27)年1月に、学長リーダーシップによる将来構想「中井プラン2021～『地域と共に歩む人材育成大学』の発展をめざして～」を公表し、2017(平成29)年1月には同プラン改訂版を策定して、福島大学の改革を具体化してきました。特に、農学系教育研究組織の設置、既存学類の見直し、教育改革(入試改革を含む)を一体的に行う「三位一体の改革」を推進し、2019(平成31)年4月に県民の長年の悲願でもあった農学群食農学類を設置し、人文社会(人間発達文化学類、行政政策学類、経済経営学類)、理工(共生システム理工学類)、農(食農学類)といった分野をもつ総合大学に発展することができました。同時に、「問題解決を基盤とした教育」を理念とした「福島大学の新教育制度」をスタートさせ、「新生福島大学」を確立させました。

そしてこの度、この「新生福島大学」のさらなる改革を三浦学長が引き継ぎ、新たなスローガンとして「地域と共に21世紀の課題に立ち向かう大学」を掲げました。

今後も福島大学は、地域の様々な問題解決をリードし、新しい社会づくりに貢献できる大学を目指してまいります。



「希望のヒカリ」贈呈の様子

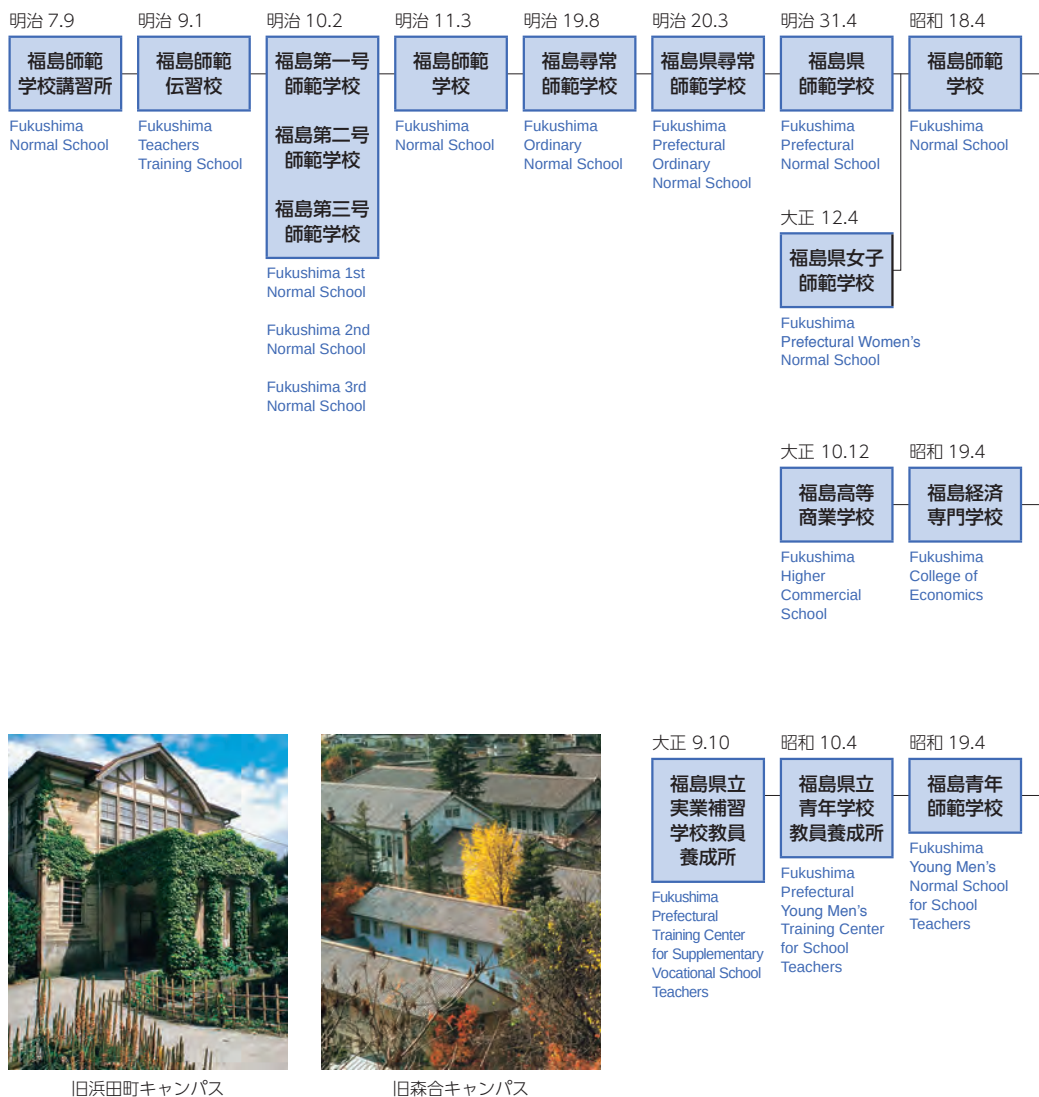


中井勝己前学長

三浦浩喜学長

沿革略

Chronology



旧浜田町キャンパス



旧森合キャンパス

1949(昭和24)年5月31日、法律第150号国立学校設置法により、福島師範学校・福島青年師範学校・福島経済専門学校の3校を包括して、学芸学部と経済学部の2学部を持つ福島大学が設置されました。

学芸学部(1966(昭和41)年4月に教育学部と改称)は市内浜田町に、経済学部は市内森合の2つのキャンパスに分散していたため、1979(昭和54)年から1981(昭和56)年にかけて現在の金谷川の地に統合移転しました。1987(昭和62)年10月に行政社会学部を増設し、2004(平成16)年10月、国立大学法人化の中で理工学群共生システム理工学類を創設するに伴い、学部制から学群・学類・学系制へと全学再編しました。

旧3学部を継承した3学類を人文社会学群としてくくり、理工学群とともに2学群4学類の教育組織を実現するとともに、全教員が参加する研究組織として12の学系(2019(令和元)年現在は13学系)を構築しました。また、人文社会学群は、伝統ある社会人教育を継承して、夜間主コース(現代教養コース)を設けました。大学院についても既存3研究科とともに、2008(平成20)年4月には共生システム理工学研究科を発足させました。そして、2010(平成22)年には同研究科に博士後期課程を、2017(平成29)年には人間発達文化研究科に教職実践専攻(教職大学院)を設置するなど充実した教育・研究を推進しています。

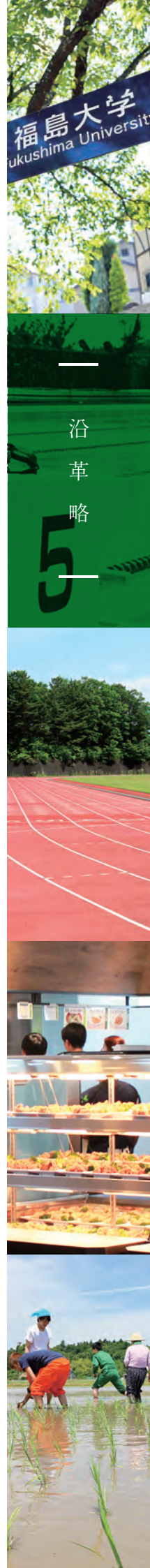
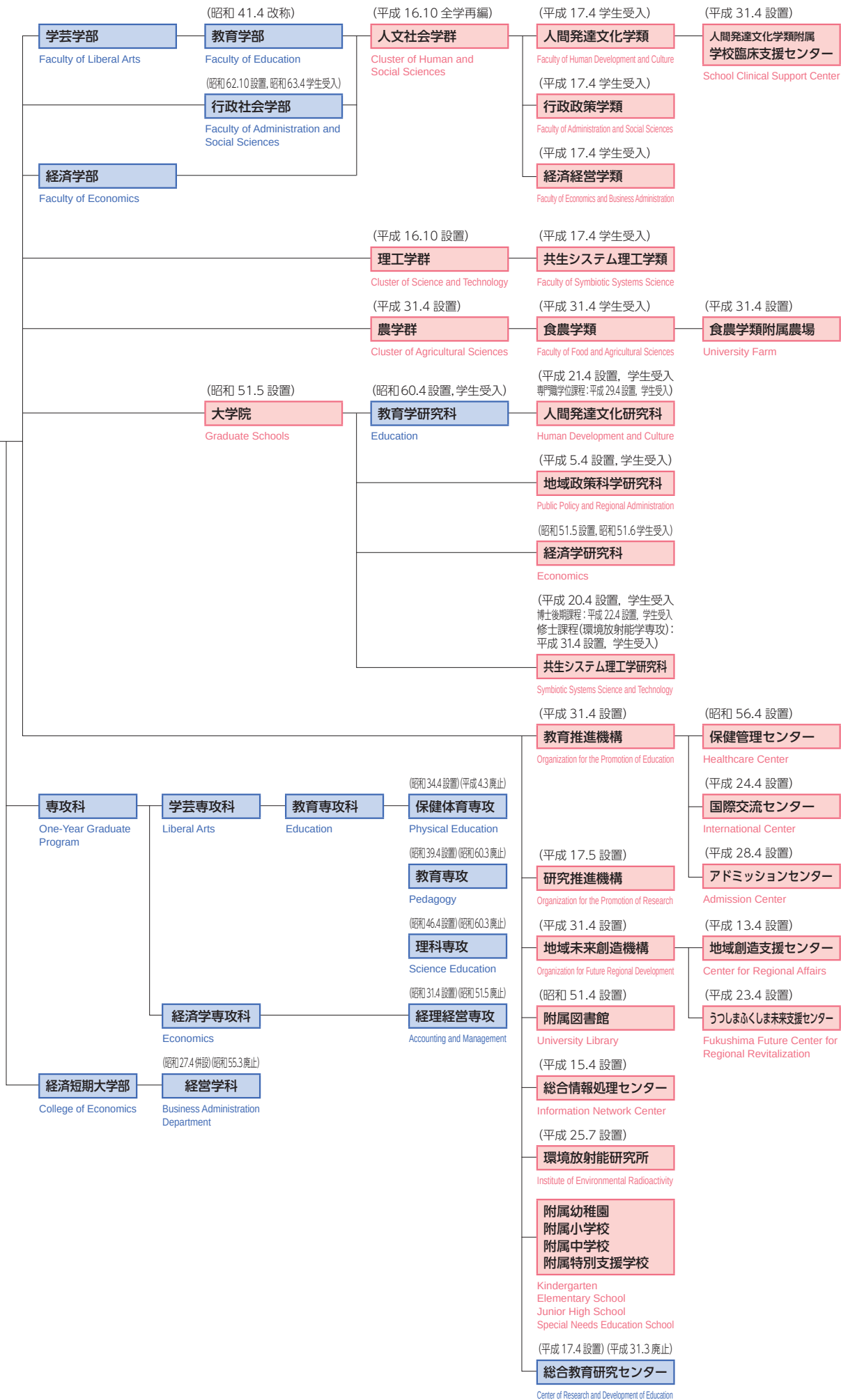
2019(平成31)年4月には、新たに農学群食農学類を開設し、3学群5学類の総合大学として生まれ変わりました。

また、現代教養コースは、「行政政策学類夜間主」として社会人教育に特化した夜間主コースに再編しました。

大学院も、大学院共生システム理工学研究科の中に環境放射能学専攻を設置し、環境放射能研究所の研究成果を人材育成にも生かしています。



移転当時の金谷川キャンパス



組織機構図

ORGANIZATION STRUCTURE

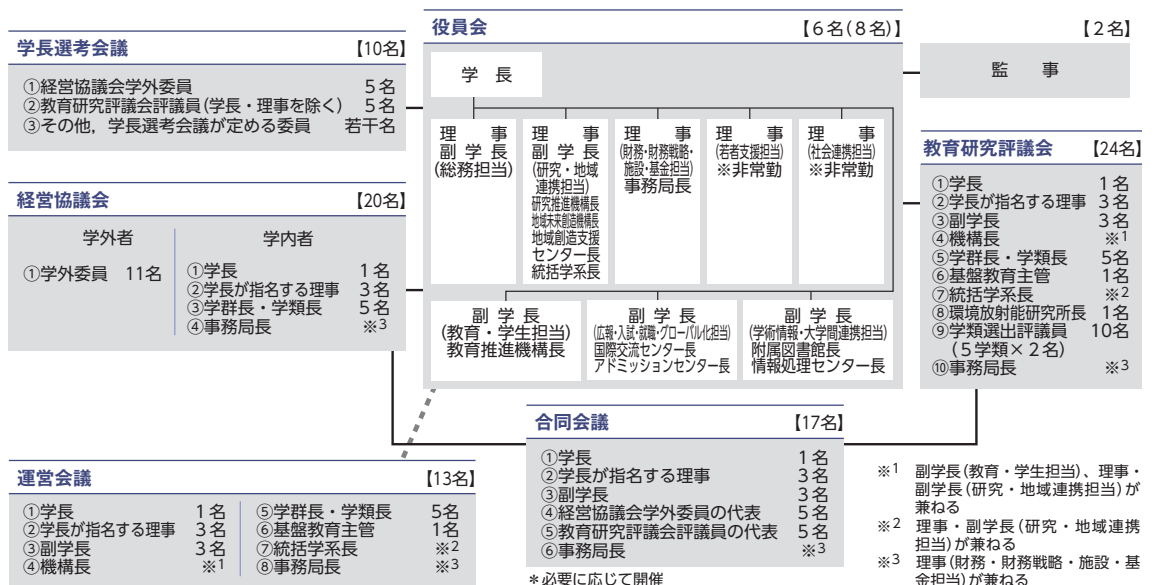
2020. 5. 1

《事務組織図》



運営組織図

GOVERNING STRUCTURE



学群・学類・研究科・学系

EDUCATIONAL AND RESEARCH SYSTEMS

学群・学類(教育組織 Educational Systems)



福島大学では、教育組織と研究組織を分離した「学群・学類・学系制」を導入し、教育や研究における教員の相互交流を推進している。人文社会学群に「人間発達文化学類(旧教育学部)」「行政政策学類(旧行政社会学部)」「経済経営学類(旧経済学部)」の3学類を、理工学群に「共生システム理工学類」を、農学群に「食農学類」を置いている。人文社会学群には社会人教育を担う「行政政策学類夜間主」を設置している。

人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences

人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture

生涯を通じた学びや人の成長を支える人材を育成

人間発達文化学類では、生涯にわたる人間の発達を個人・社会・文化との関わりにおいて支援していく人材の養成を目指しており、学校教員をはじめとして、社会の様々な分野で活躍する教育関係者、人間発達の支援者を育てる。学生は、自らの興味・関心や目指す進路に応じて、1年次から専門のコースに所属し、各コースの用意するプログラムを選択して学ぶ。この学びにより、専門に関する確かな知識・技術と実践的な応用力を身につけることができる。各種免許・資格等のうち、保育士・幼稚園教員は心理学・幼児教育コースで、特別支援学校教員は特別支援・生活科学コースで、小学校・中学校・高等学校教員は全コースで養成している。

教育実践コース	学校現場で子どもの学びを支え、確実な成長を助ける学校教員として求められる実践力をつけることを目指す
心理学・幼児教育コース	人の行動・心理についての知識を得て、科学的手法により研究を行う心理学と、乳幼児の発達を学び、幼児期にふさわしい経験を探る幼児教育について学ぶ
特別支援・生活科学コース	知的障害・肢体不自由・病弱などサポートを必要とする子どもたちの発達支援や家庭・地域社会に関わる生活科学の基礎について学ぶ
芸術・表現コース	芸術の意義を理解し、音楽や美術に関わる力量を理論的、実践的に身につけるための学びを行う
人文科学コース	言語や文学、地域や社会のあり方、その歴史や思想など、文化について広く深く学び、地域の文化を継承し、発展させていく力を養う
数理自然科学コース	身近な自然や先端的課題の中から数学や自然科学に関わる諸問題を見だし、それらを探究的に解決する学びを行う
スポーツ健康科学コース	スポーツ技能の向上と指導力を高め、生涯にわたるスポーツライフの実現と健康福祉について学ぶ

TOPICS

福島の教育的課題に取り組む

2014(平成26)年度から「学校教育支援実習」を新たな実践実習科目として設定した。これは、学校ボランティア活動をもとに学校での教育活動を支援しながら子どもたちへの理解を深め、現場の課題に取り組んでいくものである。また、放射線と健康に関する基礎的知識や復興教育に携わる際の実践的知識と心構えなどを学ぶ「復興教育学」も開講している。本学類では、このような学びや実践を通して福島の教育的課題に取り組んでいく力の向上を図り、福島の次世代を育てる学校教員の養成に努めている。

本学類生は大学での様々な学びをもとに、双葉郡の新たな教育を創造する取り組みにも積極的に関わって活躍している。



ふたば未来学園高校での実習支援活動

地域や人々の暮らしの貢献へ学際的・実践的に取り組む

行政政策学類は、法・地域・行政・社会・文化等学際的な観点から、地域社会が直面している諸課題を学び、地域の人々や自治体等様々な主体とともに実践的な学びを得て、新しい地域社会づくり、及び地域社会の活性化に貢献する主体的な人材を養成する。また、本学唯一の社会人教育の夜間主を設けており、世代間の価値観の融合を学びに活かしている。これまで、地方・国家公務員をはじめ、様々な公共部門での職業人を輩出している。

地域政策と法コース	法や行政の仕組みを知り、政策づくりから見直しまでの一連のプロセスに取り組む
地域社会と文化コース	地域社会と文化形成にかかわる幅広い知識を習得し、新しい地域づくりを提案し実践をめざす
夜間主(社会人教育)	柔軟なカリキュラムで「学び」と「社会人としてのキャリア」を支える(コースは昼と同様)

TOPICS

考古学実習での発掘調査

行政政策学類には、専門演習の一つとして考古学ゼミ、そして実習科目に「考古学実習」があり、年間を通し考古学に関わる屋内外の活動を行っている。

その一環として、夏休み期間には発掘調査を行う。担当教員の専門性から、主に福島県内の古墳の発掘を継続的に行っており、教員の指導のもと、ゼミ生と実習生が総力を挙げて取り組んでいる。発掘は共同作業の賜物であり、経験などに応じながら参加者それぞれが重要な役割を担っている。また、「掘って終わり」ではなく、調査後には出土品の整理や図化、図面や写真の整理等があり、それらをまとめ年度末に「発掘調査報告書」として刊行し、全国の大学や研究機関に送付している。

こうして経験を積んだ学生の中の少なくない数が、卒業後に自治体等の文化財専門職に採用されており、東北をはじめ各地で活躍している。



須賀川市団子山古墳の発掘調査風景



発掘調査成果をまとめた報告書

経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration

100年の実績と未来への革新、福大経済

経済経営学類は、旧制福島高等商業学校以来の100年の実績を未来においてより輝かしいものとすべく革新を続けている。現在、本学類では経済学コース、経営学コースの2コースに加え、両コース横断的なグローバル・エキスパート・プログラムを設定し、両コースで学ぶ知識、技能を世界のステージで応用できる人材を育成する。2コースの下には、学生の多様な興味関心と将来の進路に対応すべく、4つの履修モデルを設定している。

経済学コース	現代の経済社会を理解し、経済の理論と応用に関わる専門的知識・能力を修得させる
経営学コース	現代の経済社会を理解し、地域経済と経営、会計と金融の専門的知識・能力を修得させる

TOPICS

グローバル・エキスパート・プログラム

当プログラムは、経済経営学類生が自ら海外に渡航し、渡航先における経済問題に直面し、その解決について検討するプロセスを強く奨励している。経済経営学類は、これまで学類専門科目として海外インターンシップを実施、テキサスのヒューストン市役所での研修に学生を派遣してきた。その他の世界数か国に渡航する海外研修科目では、渡航先で「食」や「観光」、「消費行動」に関する共同調査を行い、その成果を市民向けイベントで発表している。グローバル・エキスパート・プログラムはこれらの個々の学習プログラムを統合し、座学の外国語科目やグローバル関連講義を組み合わせることで上記プログラムの趣旨に沿った認定基準を作成した。基準を満たした学生には就活等にも利用可能な認定証を交付し、学習意欲の向上を促進する。



「消費行動」に関する共同調査・発表
 (「ワールドマーケット」於アオウゼ)



共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science

システム思考の理工系人材の育成

共生システム理工学類では、人・産業・環境の「共生」に関わる多様な知識と広い視野、および実践的研究経験をもち、現代社会や地域の問題を「システム」科学的にとらえ、その解決に主体的に寄与できる「理工」系人材を育成します。

1年次では幅の広い理工基礎教育を学び、2年次からは9コースの専門分野に分かれて深く学び、3年次後期からは研究室に配属されて演習や卒業研究を行います。

数理・情報科学コース	情報社会に貢献できる数理科学・数学、情報科学を学ぶ
経営システムコース	経営の諸問題を整理し工学的手法で解決する方法を学ぶ
物理・システム工学コース	ものや技術の創出に関わる物理や機械・電気工学を学ぶ
物質科学コース	先進的なものづくりのための物質・材料関連分野を学ぶ
エネルギーコース	持続可能な社会のための省・創・蓄エネの技術を学ぶ
生物環境コース	生物と環境の関係、自然史、生物保全の関連分野を学ぶ
地球環境コース	地球環境の現象を解明し問題解決を目指す科学を学ぶ
社会計画コース	持続可能な社会の構築を目指す総合的な計画方法を学ぶ
心理・生理コース	心の働きや脳の仕組みを心理学や生理学から学ぶ

TOPICS

地域の課題に取り組む学生達

廃炉や除染に関する技術・再生可能エネルギー・福島県内の動植物・猪苗代湖や阿武隈川など、福島県に関係する研究テーマを数多く扱っている。そのため、見学やフィールドワークは欠かすことはできず、年間を通じて多くの機会を設けている。現場で見た規模と研究室で行う規模の差を意識することは、技術を開発し社会に実装するために必要である。地域の課題の解決にシステム思考で活躍できる人材を育てるために、学内外で様々な活動を行っている。



国内最大級の布引高原風力発電所の2000kW級風車を見学



中間貯蔵工事情報センターで説明を受ける学生達(この後、中間貯蔵施設構内をバスで見学)



ヘルメットを着用して入構し、特定廃棄物最終処分場を見学

食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences

食と農をつなげて科学する

「農学専門教育」と「農学実践型教育」の2つの柱からなる農学教育により、実践的に農学を学び、食と農の課題に幅広く取り組む力を養います。

食品科学コース	農産物や食品の機能性や高付加価値化に関する技術や知識を学ぶ
農業生産学コース	農産物の安定生産、高品質・高収量化に関する技術と知識を学ぶ
生産環境学コース	持続的な農林業のための環境管理・保全に関する技術と知識を学ぶ
農業経営学コース	魅力的な農業経営、地域やフードシステムに関する知識と技能を学ぶ

TOPICS

農場基礎実習

入学後すぐ1年生から農場実習を開始する。大学の農場で稲、野菜、果樹、花卉を栽培し、作物栽培に必要な技術や管理方法に関する知識を習得する。播種、定植、摘果、肥培管理、病害虫管理、収穫・貯蔵等の基本的な作業を学ぶとともに農業機械や農機具の取り扱いについても学修する。この農場基礎実習を通して農業の基礎を身に付け、2年生以降の現地での実践につなげる。



質量分析装置での実験の様子



森林実習



温室での実習

人間発達文化研究科 Graduate School of Human Development and Culture

地域の抱える課題を克服する「人材育成のエキスパート」を養成する。

人間発達文化研究科は、多様な現代的教育課題に対応するため、今日、必要とされる高度な知識・技術を持って人材育成を促進させる＜人材育成のエキスパート＞を養成していくことを目的とする。同研究科は3専攻から構成されている。

いずれの専攻も大学院への進学者の教育とともに、県教育委員会の協力のもと現職教員研修の場としても機能し地域社会に貢献する。とくに学校臨床心理専攻では昼夜開講制をとり、社会人を含め多くの学生が研究を進めている。

教職実践専攻 (教職大学院)	・ミドル・リーダー養成コース ・教育実践高度化コース ・特別支援教育高度化コース	高度に学び続ける教員の資質・能力を備え、理想とする教員像と自らの役割を常に問い続け、教育課程を含む学校のマネジメント経験を積みながら教師力を向上させていく＜教員のミドル・リーダー＞を養成する。
地域文化創造専攻	・人間発達支援領域 ・日英言語文化領域 ・地域生活文化領域 ・数理科学領域 ・スポーツ健康科学領域 ・芸術文化領域	修士レベルの文化的専門性を基盤に地域社会の多様な諸課題を解決するために必要な学際的コーディネート力を獲得し、さらにその力を次世代の創出に不可欠な人材育成力へと連動させる＜地域支援エキスパート＞を養成する。
学校臨床心理専攻	・臨床心理領域 ・学校福祉臨床領域	自立支援・発達支援・社会支援の専門的知識とスキルを持つ＜発達支援エキスパート＞を養成する。

地域政策科学研究科 Graduate School of Public Policy and Regional Administration

地域政策・地域社会を科学的に探究し、諸問題の解決へ学際的に挑む！

本研究科5つの履修分野の教育・研究に加え、各院生の研究テーマを他分野の価値観や手法と有機的に統合させて、地域の多様な政策的課題に一層高度なレベルで対応できる人材を養成する。社会人も積極的に受け入れ、社会人の専門的能力の向上を図ることで、地域社会の発展に寄与する。政策立案や新しい地域社会の形成のため複数の分野の教員指導の下、課題の解決を具体的に研究する。

地方行政	行政学・政治学の基礎理論及び地方自治体の行政を具体的な制度や実態に即しながら法的・政治的側面から研究する。
社会経済法	地域社会における社会的・経済的諸問題を法的側面から理論的に研究する。
行政基礎法	地域の行政の基礎となっている法制度や、その運用の実態を理論的な見地から探究する。
社会計画	社会の基本構造及びそれに基づく地域社会の構造・問題把握を踏まえ、地域社会の再建、活性化に不可欠な社会計画について、特にそれを政策化する視点から研究する。
地域文化	地域の生活を基礎とする地域社会の諸側面を、地域文化として総括する方法について研究するとともに、社会情報について理論的かつ実証的に研究する。

経済学研究科 Graduate School of Economics

経済学・経営学の専門知識の習得と研究能力の養成を目指す。

本研究科には、経済学専攻・経営学専攻の2つの専攻がある。また、テーマ別に編成された科目群であるプログラムを設置している。従来の修士論文を執筆するコースと並んで、社会人の学び直し教育に対応すべく実務との関係を意識した課題研究コースを設定している。昼夜開講体制や長期履修制度、土日開講、集中講義、外部講師による講義科目の充実など、有職者の学びを支援する諸制度も整備している。

	修士論文コース	課題研究コース
経済学専攻	＜地域産業復興プログラム＞ 地域産業復興の担い手となるエキスパートを養成	
	＜グローバル政治経済学プログラム＞ グローバルな視点で地域と世界をつなぐエキスパートを養成	
経営学専攻	＜会計税務プログラム＞ 高度な専門知識を有する次世代の会計専門家を養成	
		＜ビジネスキャリア・プログラム(BCP)＞ 経営リテラシー・実践的な分析手法を学ぶ

理工学の問題解決を通して持続可能な社会の構築に貢献する

学士課程で培われた知識や技術をさらに進化させ、科学技術の進化に適応する高度で広範な教育研究を提供する福島大学大学院共生システム理工学研究科共生システム理工学専攻修士課程を2008(平成20)年度に開設しました。年次進行で、2010(平成22)年度からは博士後期課程を開設(修士課程は博士前期課程と改称)し、2019(平成31)年度には共生システム理工学専攻に加えて環境放射能学専攻の修士課程を本研究科に開設しています。

共生システム理工学専攻 博士前期課程	数理・情報システム分野	数学、情報科学、経営システム工学、およびそれらを基礎とする数理・情報システム分野の研究
	物理・メカトロニクス分野	物理学、機械工学、電気電子工学、制御工学、およびそれらを基礎とする物理・メカトロニクス分野の研究
	物質・エネルギー科学分野	化学、材料工学、化学工学、エネルギー工学、およびそれらを基礎とする物質・エネルギー科学分野の研究
	生命・環境分野	生物学、心理学、地学、気象学、水文学、およびそれらを基礎とする生命・環境分野の研究
共生システム理工学専攻 博士後期課程	共生機械システム領域	人理解科学、メカトロニクス、情報技術を軸とした高度な機械システムに関する研究
	産業共生システム領域	資源材料・エネルギーなどの工学技術、数理情報、コンピュータ科学、産業政策、技術経営に関する高度な研究
	環境共生システム領域	環境のモニタリング、実践的な保全・浄化技術の開発ならびに改善した環境の管理・計画に関する高度な研究
環境放射能学専攻 修士課程	生態学分野	生態学、生物学、またはそれらを基礎とする放射生態学分野の研究
	モデリング分野	地球科学、現象数理学、またはそれらを基礎とする放射能モデリング分野の研究
	計測分野	化学、物理学、機械工学、電気工学、またはそれらを基礎とする放射能計測分野の研究

学 系 Researchers Department (研究組織 Research System)

新制度設計のもとに教育組織は学類として、研究組織は学系として位置付けられた。現在、8つの学系が存在し、各教員は自己の専門領域に応じていずれかの学系に所属し、研究活動に従事している。各教員は学系を基盤に日々研究交流を行っている。そして今日、大震災・原発事故後の地域社会の多様なニーズに応えることを重要課題として意識し、学系プロジェクトや多様なプロジェクトを通して、自治体の再生や支援、農林漁業や製造業の復興・再生、学校・教育支援などに関わっている。

教育学系

Education

人間の存在と社会ならびにそれらの発達を、教育との関係において、多面的・多角的、統合的に理解することを目指す研究を行っている。教育の現象を論じる本学系ならではの特徴である、多様なテーマと観点のもと、諸問題に理論的かつ実践的にアプローチし、体系的な知の創造に向けた模索と挑戦を重ねている。

地域文化・言語学系

Regional Culture and Languages

日本、アジア、世界の諸地域の社会、思想、歴史、文化、文学、芸術、言語を対象とした基礎的研究・応用的研究を推進するとともに、領域を超えた研究の連携や地域との協働的活動を通して、人間や社会の諸相について様々な視点から探究する。

健康・運動・心理学系

Health, Sports Science and Psychology

健康・運動・心理学系に所属する教員は、体育、スポーツ、健康科学、心理学、医学等を専門とし、人と社会の身体的・心理的健康に寄与する研究と実践を行っている。

法・行政・社会学系

Law, Administration and Society

政策や行政の制度の実態を踏まえ、法・政治・行政学的視点で、社会的・経済的諸問題を研究している。また、社会の構造及び地域社会の問題を踏まえ、政策化・社会計画化する視点で、地域の諸課題を研究している。そして、学系領域相互の有機的関連も視野に入れた研究を進めている。

経済・経営学系

Economics and Business Administration

経済・経営学系には大別して経済学・経営学・会計学の3つの研究分野がある。各分野では、基礎理論の発展に資する研究が積み重ねられるとともに、地域社会や企業等の抱える上記分野に関連する課題の解決に向けた研究も進められている。

自然科学・情報学系

Natural Sciences and Informatics

自然科学・情報学系は、数学・物理学・化学・環境科学・情報科学分野を研究領域とする教員から構成されている。自然の真理を探究するとともに、環境保全や情報化社会などへの貢献も目指しながら研究している。

応用理工学系

Applied Science and Technology

科学技術を社会に活かす目的を持って、研究を行っている。取り扱うテーマは多岐にわたり、学問分野横断的なテーマも数多くある。共同研究など、産学連携活動が盛んなことも特徴である。

生物・農学系

Biological and Agricultural Sciences

多様な生物と地域環境をめぐる自然科学に取り組むとともに、農林水産業や食品産業を牽引する新時代の農学を展開する。放射能に関する研究や社会科学の研究とともに、福島ならではの持続可能な社会の創造に貢献する。





国際交流

INTERNATIONAL EXCHANGE

海外協定校 International Partner Institutions

2020.5.1

国名 Nation	大学名 University	締結年月日 Effective Since
中国 China	北京師範大学 Beijing Normal University	1990年12月11日 Dec. 11, 1990
	華東師範大学 East China Normal University	1995年 7 月 1 日 Jul. 1, 1995
	河北大学 Hebei University	1998年11月 2 日 Nov. 2, 1998
	中南財經政法大学 Zhongnan University of Economics and Law	2001年 3 月22日 Mar. 22, 2001
	西南交通大学 Southwest Jiaotong University	2011年 9 月 1 日 Sep. 1, 2011
	重慶理工大学 Chongqing University of Technology	2014年10月29日 Oct. 29, 2014
台湾 Taiwan	国立台北大学 National Taipei University	2007年 4 月 3 日 Apr. 3, 2007
	文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages	2017年 9 月28日 Sep. 28, 2017
韓国 South Korea	韓国外語大学校 Hankuk University of Foreign Studies	2006年 3 月14日 Mar. 14, 2006
	ソウル市立大学校 University of Seoul	2011年 1 月27日 Jan. 27, 2011
	中央大学校 Chung-Ang University	2014年11月19日 Nov. 19, 2014
	培材大学校 Pai Chai University	2018年11月 6 日 Nov. 6, 2018
ベトナム Vietnam	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 VNU University of Social Sciences and Humanities	2001年 6 月20日 Jun. 20, 2001
	ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学 VNU University of Science	2007年 9 月24日 Sep. 24, 2007
	ホアセン大学 Hoa Sen University	2016年 2 月18日 Feb. 18, 2016
	トゥイロイ大学 Thuyloi University	2016年12月 6 日 Dec. 6, 2016
インドネシア Indonesia	シアクアラ大学 Syiah Kuala University	2014年 7 月 8 日 Jul. 8, 2014
フィリピン Philippines	アテネオ・デ・マニラ大学 Ateneo de Manila University	2017年 7 月11日 Jul. 11, 2017
オーストラリア Australia	クイーンズランド大学 University of Queensland	2001年10月26日 Oct. 26, 2001
アメリカ合衆国 U.S.A.	ウイスコンシン大学オークレア校 University of Wisconsin Eau Claire	1992年12月 8 日 Dec. 8, 1992
	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University	1996年 7 月 2 日 Jul. 2, 1996
	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York	2012年12月26日 Dec. 26, 2012
	コロラド州立大学 Colorado State University	2013年 6 月 3 日 Jun. 3, 2013
	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	2014年 1 月24日 Jan. 24, 2014
	オザークス大学 University of Ozarks	2015年 6 月10日 Jun. 10, 2015
	ジョージア大学 University of Georgia	2015年 9 月 2 日 Sep. 2, 2015
	セント・トーマス大学 University of St. Thomas	2017年11月17日 Nov. 17, 2017
	ルイジアナ州立大学 Louisiana State University	2018年10月15日 Oct. 15, 2018
カナダ Canada	ブリティッシュコロンビア大学 University of British Columbia	2016年 4 月28日 Apr. 28, 2016
	マクマスター大学 McMaster University	2017年 8 月 4 日 Aug. 4, 2017
	スターリング大学 University of Stirling	2008年 1 月25日 Jan. 25, 2008
英国 U.K.	ウィンチェスター大学 University of Winchester	2010年 5 月29日 May. 29, 2010
	グラスゴー大学 University of Glasgow	2017年 3 月 6 日 Mar. 6, 2017
	ポーツマス大学 University of Portsmouth	2017年 6 月 7 日 Jun. 7, 2017
	ノーサンブリア大学 Northumbria University	2017年 7 月13日 Jul. 13, 2017
	ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum	2009年10月 8 日 Oct. 8, 2009
ドイツ Germany	ハノーファー大学 Leibniz University Hannover	2015年 6 月10日 Jun. 10, 2015
	ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society	2016年 4 月21日 Apr. 21, 2016
	ミュンスター応用科学大学 FH Münster University of Applied Sciences	2018年 5 月16日 May. 16, 2018
オランダ Netherlands	ハンザUAS・フローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen	2017年 7 月 5 日 Jul. 5, 2017
スペイン Spain	サラゴサ大学 University of Zaragoza	2018年 2 月28日 Feb. 18, 2018
ハンガリー Hungary	カーロリ・ガースパール・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church	2016年 6 月28日 Jun. 28, 2016
ルーマニア Romania	ブカレスト大学 University of Bucharest	2011年12月22日 Dec. 22, 2011
セルビア Serbia	ベオグラード大学 University of Belgrade	2017年 3 月 6 日 Mar. 6, 2017
スロベニア Slovenia	リュブリャナ大学 University of Ljubljana	2018年 2 月28日 Feb. 28, 2018
ベラルーシ Belarus	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University	2012年 2 月24日 Feb. 24, 2012
ロシア Russia	極東国立交通大学 Far Eastern State Transport University	2017年 1 月11日 Jan. 11, 2017
ウクライナ Ukraine	ウクライナ国立生命環境科学大学 National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine	2015年 4 月 1 日 Apr. 1, 2015
	チェルニーヒウ国立工科大学 Chernihiv National University of Technology	2015年 4 月 1 日 Apr. 1, 2015
	オデッサ国立環境大学 Odessa State Environmental University	2015年 4 月 1 日 Apr. 1, 2015
ノルウェー Norway	ノルウェー生命科学大学 Norwegian University of Life Sciences	2015年 8 月18日 Aug. 18, 2015
トルコ Turkey	アンカラ大学 Ankara University	2016年 3 月12日 Mar. 12, 2016
	中東工科大学 Middle East Technical University	2016年 4 月28日 Apr. 28, 2016
	エーゲ大学 Ege University	2017年 3 月 6 日 Mar. 6, 2017

学生交流協定における交換留学 Student Exchanges

2019.4.1-2020.3.31

派遣大学 Host Institution	人数 Number of Students
華東師範大学 East China Normal University	4
河北大学 Hebei University	1
重慶理工大学 Chongqing University of Technology	1
国立台北大学 National Taipei University	1
文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages	2
韓国外国語大学 Hankuk University of Foreign Studies	4
中央大学 Chung-Ang University	1
培材大学 Pai Chai University	2
ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York	1
サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	1
グラスゴー大学 University of Glasgow	2
ノーサンブリア大学 Northumbria University	1
ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum	2
ハノーファー大学 Leibniz University Hannover	1
ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society	1
ミュンスター応用科学大学 FH Münster University of Applied Sciences	1
ハンザUASフローニンゲン大学 Hanze University of Applied Sciences, Groningen	4
カーロリ・ガーシュパル・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church	3
ブカレスト大学 University of Bucharest	2
リュブリャナ大学 University of Ljubljana	3
中東工科大学 Middle East Technical University	1

受入大学 Home Institution	人数 Number of Students
河北大学 Hebei University	11
重慶理工大学 Chongqing University of Technology	1
国立台北大学 National Taipei University	1
文藻外語大学 Wenzao Ursuline University of Languages	4
オザークス大学 University of Ozarks	1
ノーサンブリア大学 Northumbria University	1
ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum	2
ハノーファー大学 Leibniz University Hannover	1
ルードヴィヒスハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society	3
ミュンスター応用科学大学 FH Münster University of Applied Sciences	3
カーロリ・ガーシュパル・カルビン派大学 Károli Gáspár University of the Reformed Church	7
ブカレスト大学 University of Bucharest	3
ベオグラード大学 University of Belgrade	2
リュブリャナ大学 University of Ljubljana	5
ベラルーシ国立大学 Belarusian State University	4

学生交流協定校等における短期プログラム Short-term Programs

2019.4.1-2020.3.31

派遣大学 Host Institution	人数 Number of Students
国立台北大学・文藻外語大学 National Taipei University・Wenzao Ursuline University of Languages	13
培材大学 Pai Chai University	14
日越大学 Vietnam Japan University	2
クイーンズランド大学 University of Queensland	10
コロラド州立大学 Colorado State University	6
セント・トーマス大学 University of St. Thomas	5
ウィニペグ大学 University of Winnipeg	7
極東国立交通大学 Far Eastern State Transport University	4
アンカラ大学・エーゲ大学 Ankara University・Ege University	7
ルール大学ボーフム Ruhr-University Bochum	7

受入大学 Home Institution	人数 Number of Students
国立台北大学・文藻外語大学 National Taipei University・Wenzao Ursuline University of Languages	13
コロラド州立大学 Colorado State University	5
サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	1
セントトーマス大学 University of St. Thomas	4
マクマスター大学 McMaster University	1
グラスゴー大学 University of Glasgow	9
ノーサンブリア大学 Northumbria University	1
ハノーファー大学 Leibniz University Hannover	2
アンカラ大学 Ankara University	9
中東工科大学 Middle East Technical University	2
エーゲ大学 Ege University	6



国際交流

歴代学長

LIST OF FORMER AND CURRENT PRESIDENTS



西 沢 喜洋芽
NISHIZAWA Kiyome
昭24. 5.31～昭29. 3.17
新制福島大学初代学長
S24.5福島大学設置
S27.4(短)併設経済短期
大学部設置(夜間3年・学
生定員80)



安 田 初 雄
YASUDA Hatsu
(事務取扱)
昭46. 4. 1～昭48. 2.16
S46.11(評)統合推進方針
を最終決定



白 井 嘉 一
USUI Yoshikazu
平14. 2.16～平18. 3.31
H16.4国立大学法人福島
大学として学生受入開始
H16.10福島大学全学再
編。3学部から2学群4学
類12学系制度へ移行。人
文社会学群に夜間主コー
スを設置



阿 部 久 次
ABE Kyuji
昭29. 2.17～昭32. 2.16
昭32. 2.17～昭35. 2.16
昭35. 2.17～昭37.10.30
S31.4(経)経済学専攻科
設置(経理経営専攻)



渡 辺 源次郎
WATANABE Genjiro
昭51. 2.16～昭54. 2.15
昭54. 2.16～昭56. 2.15
S51.5(院経)大学院・経
済学研究科(経済学専攻)
修士課程新設。経済学部
専攻科廃止
S52.4(育)附属養護学校
設置
S54.4(育)幼稚園教員養
成課程設置



今 野 順 夫
KONNO Toshio
平18. 4. 1～平22. 3.31
H20.4大学院共生システ
ム理工学研究科(修士課
程)設置
H21.4大学院人間発達文
化研究科(修士課程)設置



服 部 英太郎
HATTORI Eitaro
昭37.10.30～昭40.10.29
昭40.10.30～昭40.12.20
S39.4(芸)専攻科に教育
専攻設置(学生定員5)
S40.4(経)経営学科拡充
改組・学生定員40増



伊 藤 巳喜夫
ITO Mikio
昭56. 2.16～昭59. 2.15
S56.4保健管理センター
設置。(育)教育実践研究
指導センター設置



入野 修
NITTONO Osamu
平22. 4. 1～平26. 3.31
H22.4大学院共生システ
ム理工学研究科(博士課
程)設置
H23.4つくししまふくしま
未来支援センター設置
H24.4国際交流センター
設置
H25.7環境放射能研究所
設置



平 井 博
HIRAI Hiroshi
(事務取扱)
昭40.12.20～昭41. 2.18
S40.12服部英太郎学長急
逝のため。平井博学芸学
部長が学長事務取扱に就
任



山 田 舜
YAMADA Akira
昭59. 2.16～昭62. 2.15
昭62. 2.16～平成元. 2.15
S60.4(院育)教育学研究
科修士課程新設
S61.4(院経)経営学専攻
設置(社会人受入)
S62.10(行)行政社会学部
(行政学科学学生定員160・
応用社会学科学学生定員
80)設置



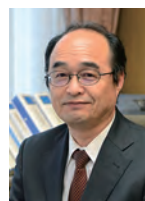
中 井 勝 己
NAKAI Katsumi
平26. 4. 1～令2. 3.31
H28.4アドミッション
センター設置
H29.4教職大学院(人間発
達文化研究科教職実践専
攻)設置
H31.4福島大学全学再編。
農学群食農学類設置。
大学院共生システム理工学
研究科環境放射能学専攻
(修士課程)設置



海 後 勝 雄
KAIGO Katsuo
昭41. 2.18～昭43.10.15
S41.4(芸)教育学部に名
称を変更。(育)特別教科
(理科)教員養成課程設置
(学生定員30)。(育)附属
幼稚園設置
S42.4(育)附属小学校に
特殊学級設置



篠 筈 憲 爾
SASAKI Kenji
平成元. 2.16～平4. 2.15
H1.4(行)(経)福島大学地
域研究センター発足
H3.4(経)16講座を5大講
座に再編成



三 浦 浩 喜
MIURA Hiroki
令2. 4. 1～
R2.4学系を13学系から
8学系に再編



玉 山 勇
TAMAYAMA Isamu
(事務取扱)
昭43.10.15～昭44.12. 4
昭48. 2.16～昭51. 2.15
S44.4(育)附属中学校に
特殊学級設置。福島大学
計算センター設置
S48.3(文)に移転統合計
画書を提出



星 埜 惇
HOSHINO Atsushi
平4. 2.16～平7. 2.15
H5.4(院行)地域政策科学
研究科設置



野 村 正 次
NOMURA Masaji
(事務取扱)
昭44.12. 4～昭46. 3.31
S45.7統合に関するマス
タープラン作成委員会設
置



吉 原 泰 助
YOSHIHARA Taisuke
平7. 2.16～平10. 2.15
平10. 2.16～平12. 2.15
平12. 2.16～平14. 2.15
H7.4生涯学習教育研究セ
ンター設置
H13.4地域創造支援セン
ター設置

役 職 員

ADMINISTRATORS

2020.5.1

学 長 President	三 浦 浩 喜 MIURA Hiroki
理事・副学長(総務担当) Executive Director・Vice President (General Affairs)	塩 谷 弘 康 SHIOYA Hiroyasu
理事・副学長(研究・地域連携担当) Executive Director・Vice President (Research and Regional Affairs)	
研究推進機構長 Director, Organization for the Promotion of Research	
地域未来創造機構長 Director, Organization for the Future Regional Development	二 見 亮 弘 FUTAMI Ryoko
地域創造支援センター長 Director, Center for Regional Affairs	
統括学系長 Chair, Researchers' Department	
理事(財務・財務戦略・施設・基金担当) Executive Director (Finance, Financial Strategy, Facility and Fund Affairs)	内 田 広 之 UCHIDA Hiroyuki
事務局長 Director General	高 橋 宏 和 TAKAHASHI Hirokazu
理事(若者支援担当)※非常勤 Executive Director (Youth Support Affairs)	緑 川 茂 樹 MIDORIKAWA Shigeji
理事(社会連携担当)※非常勤 Executive Director (Society Affairs)	上 井 喜 彦 KAMII Yoshihiko
監事 Auditor	橋 本 潤 子 HASHIMOTO Junko
監事 Auditor	谷 雅 泰 TANI Masayasu
副学長(教育・学生担当) Vice President (Education and Academic Affairs)	
教育推進機構長 Director, Organization for the Promotion of Education	
副学長(広報・入試・就職・グローバル化担当) Vice President (Public Relations, Admission, Employment and Global Affairs)	佐 野 孝 治 SANO Koji
国際交流センター長 Director, International Center	
アドミッションセンター長 Director, Admission Center	
副学長(学術情報・大学間連携担当) Vice President (Academic Information, Inter-University Affairs)	
附属図書館長 Director, University Library	塘 忠 顕 TSUTSUMI Tadaaki
総合情報処理センター長 Director, Information Network Center	
保健管理センター所長 Director, Healthcare Center	小 室 安 宏 KOMURO Yasuhiro
うつくしまふくしま未来支援センター長 Director, Fukushima Future Center for Regional Revitalization	菊 地 芳 朗 KIKUCHI Yoshio
環境放射能研究所長 Director, Institute Environmental Radioactivity	難 波 謙 二 NANBA Kenji
人文社会学群長 Provost, Cluster of Human and Social Sciences	鈴 木 典 夫 SUZUKI Norio
人間発達文化学類長 Dean, Faculty of Human Development and Culture	朝 賀 俊 彦 ASAKA Toshihiko
行政政策学類長 Dean, Faculty of Administration and Social Sciences	鈴 木 典 夫 SUZUKI Norio
経済経営学類長 Dean, Faculty of Economics and Business Administration	貴田岡 信 KITAOKA Makoto
理工学群長 Provost, Cluster of Science and Technology	佐 藤 理 夫 SATO Michio
共生システム理工学類長 Dean, Faculty of Symbiotic Systems Science	佐 藤 理 夫 SATO Michio
農学群長 Provost, Cluster of Agricultural	生源寺 眞 一 SHOGENJI Shinichi
食農学類長 Dean, Faculty of food and Agricultural Sciences	生源寺 眞 一 SHOGENJI Shinichi
基盤教育主管 Director, Foundation Education	小野原 雅 夫 ONOHARA Masao
附属幼稚園長 Kindergarten Principal	千 葉 桂 子 CHIBA Keiko
附属小学校長 Elementary School Principal	千 葉 義 伍 CHIBA Yogo
附属中学校長 Junior High School Principal	佐久間 康 之 SAKUMA Yasuyuki
附属特別支援学校長 Special Needs Education School Principal	新 井 浩 ARAI Hiroshi
学長室長 Chief, President Unit	山 崎 裕 YAMAZAKI Yutaka
監査室長 Chief, Auditing Unit	金 野 秀 樹 KONNO Hideki
総務課長 Chief, General Affairs Division	五十嵐 裕 IGARASHI Yutaka
人事課長 Chief, Personnel Division	高 橋 清 典 TAKAHASHI Kiyonori
財務課長 Chief, Financial Affairs Division	宮 倉 尚 之 MIYAKURA Naoyuki
施設課長 Chief, Facilities Division	田 牧 貴 教 TAMAKI Takanori
教務課長 Chief, Educational Affairs Division	佐 藤 孝 夫 SATO Takao
学生・留学生課長 Chief, Student And Student Studying Abroad Affairs Division	齋 藤 栄 一 SAITO Eiichi
キャリア支援課長 Chief, Career Support Division	高 野 佐知子 TAKANO Sachiko
入試課長 Chief, Admissions Office	伊 藤 敬 義 ITO Takayoshi
研究振興課長 Chief, Research Promotion Division	木 村 勝 典 KIMURA Katsunori
地域連携課長 Chief, Regional Collaboration Division	渡 邊 能 仁 WATANABE Yoshihito
学術情報課長 Chief, Academic Information Division	佐 藤 和 弘 SATO Kazuhiro

経営協議会委員

MANAGEMENT COUNCIL

2020.5.1

学外委員	
岩 淵 明 前岩手大学長	IWABUCHI Akira
遠 藤 雄 幸 川内村長	ENDO Yuko
斎 藤 美 幸 有限会社金水晶酒店代表取締役社長	SAITO Miyuki
三 部 吉 久 税理士法人三部会計事務所長 株式会社グッドビジネスパートナーズ代表取締役	SANBE Yoshihisa
高 橋 信 夫 福島市政策調整部長 ※職位委嘱	TAKAHASHI Nobuo
橋 清 司 福島県企画調整部長 ※職位委嘱	TACHIBANA Kiyoshi
富 田 孝 志 (公財)福島県青少年育成・男女共生推進機構理事長、元福島県教育長	TOMITA Takashi
羽 田 貴 史 広島大学名誉教授・東北大学名誉教授	HATA Tkashi
林 由美子 株式会社タカラ印刷取締役会長	HAYASHI Yumiko
深 澤 秀 樹 前株式会社福島キャンノン代表取締役社長、ふくしまNPOネットワークセンター常務理事	FUKAZAWA Hideki
渡 邊 博 美 福島ヤクルト販売株式会社代表取締役会長	WATANABE Hiromi
学内委員	
三 浦 浩 喜 学長	MIURA Hiroki
塩 谷 弘 康 理事・副学長(総務担当)	SHIOYA Hiroyasu
二 見 亮 弘 理事・副学長(研究・地域連携担当)	FUTAMI Ryoko
内 田 広 之 理事(財務・財務戦略・施設・基金担当)、事務局長	UCHIDA Hiroyuki
朝 賀 俊 彦 人間発達文化学類長	ASAKA Toshihiko
鈴 木 典 夫 行政政策学類長	SUZUKI Norio
貴田岡 信 経済経営学類長	KITAOKA Makoto
佐 藤 理 夫 共生システム理工学類長	SATO Michio
生源寺 眞 一 食農学類長	SHOGENJI Shinichi

教育研究評議会評議員

EDUCATION AND RESEARCH COUNCIL

2020.5.1

三 浦 浩 喜	学長	MIURA Hiroki
塩 谷 弘 康	理事・副学長(総務担当)	SHIOYA Hiroyasu
二 見 亮 弘	理事・副学長(研究・地域連携担当)、研究推進機構長、地域未来創造機構長、統括学系長	FUTAMI Ryoko
内 田 広 之	理事(財務・財務戦略・施設・基金担当)、事務局長	UCHIDA Hiroyuki
谷 雅 泰	副学長(教育・学生担当)、教育推進機構長	TANI Masayasu
佐 野 孝 治	副学長(広報・入試・就職・グローバル化担当)	SANO Koji
塘 忠 顕	副学長(学術情報・大学間連携担当)	TSUTSUMI Tadaaki
朝 賀 俊 彦	人間発達文化学類長	ASAKA Toshihiko
中 村 恵 子	人間発達文化学類教授	NAKAMURA Keiko
初 澤 敏 生	人間発達文化学類教授	HATSUZAWA Toshio
鈴 木 典 夫	行政政策学類長	SUZUKI Norio
高 橋 準	行政政策学類教授	TAKAHASHI Jun
福 島 雄 一	行政政策学類教授	FUKUSHIMA Yuichi
貴田岡 信	経済経営学類長	KITAOKA Makoto
末 吉 健 治	経済経営学類教授	SUEYOSHI Kenji
福 富 靖 之	経済経営学類教授	FUKUTOMI Yasuyuki
佐 藤 理 夫	共生システム理工学類長	SATO Michio
神 長 裕 明	共生システム理工学類教授	KAMINAGA Hiroaki
長 橋 良 隆	共生システム理工学類教授	NAGAHASHI Yoshitaka
生源寺 眞 一	食農学類長	SHOGENJI Shinichi
荒 井 聡	食農学類教授	ARAI Satoshi
金 子 信 博	食農学類教授	KANEKO Nobuhiro
小野原 雅 夫	基盤教育主管	ONOHARA Masao
難 波 謙 二	環境放射能研究所長	NANBA Kenji

役職員数

NUMBER OF EXECUTIVES, FACULTY AND STAFF

2020.5.1

区 分 Division	職 種 Job Classification			役 員 Directors			教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors	助手 Instructors	計 Sub Total	附属学校教員 Teachers of Special School	事務系職員 Administration Officers	合計 Total
	学長 President	理事 Executive Director	監事 Auditor												
現 員 Number of Regular Staff	1	5※1	2※2				133	102	4	0	0	247	82	130※3	459
役 員 Directors	1	5※1	2※2									8			8
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture							37	22				59			59
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences							18	19				37			37
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration							25	16				41			41
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science							28	19	1			48			48
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences							16	21				37			37
附属図書館 University Library															
保健管理センター Healthcare Center							1	1				2		2	4
地域創造支援センター Center for Regional Affairs							2					2			2
総合情報処理センター Information Network Center							1					1			1
教育推進機構 Organization for the Promotion of Education							1	1				2			2
学校臨床支援センター School Clinical Support Center							2	1				3			3
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization															
国際交流センター International Center									1			1			1
アドミッションセンター Admission Center															
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity							2	2	2			6			6
附属幼稚園 Kindergarten													4		4
附属小学校 Elementary School													29	1	30
附属中学校 Junior High School													22		22
附属特別支援学校 Special Needs Education School													27		27
事務局 Administration Bureau														127	127

※1 常勤3名、非常勤2名

※2 監事は非常勤

※3 各部署等に配置される職員を含む

入学志願者及び入学者

NUMBER OF APPLICANTS AND ENROLLED STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES				2020.5.1					
学群・学類 Cluster・Faculty		年度 Year	R2 2020						
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	入学志願者 Number of Applicants	1,228						
		入学学生 Number of Students Admitted	265						
	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	入学志願者 Number of Applicants	1,080						
		入学学生 Number of Students Admitted	191						
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	入学志願者 Number of Applicants	829						
		入学学生 Number of Students Admitted	225						
理工学群 Cluster of Science and Technology	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	入学志願者 Number of Applicants	810						
		入学学生 Number of Students Admitted	171						
	計 Sub Total	入学志願者 Number of Applicants	810						
		入学学生 Number of Students Admitted	171						
農学群 Cluster of Agricultural Sciences	食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	入学志願者 Number of Applicants	311						
		入学学生 Number of Students Admitted	100						
	計 Sub Total	入学志願者 Number of Applicants	311						
		入学学生 Number of Students Admitted	100						
合計 Total		入学志願者 Number of Applicants	4,300						
		入学学生 Number of Students Admitted	974						

大学院(修士課程・専門職学位課程・博士前期課程) GRADUATE SCHOOL				2020.5.1					
研究科 Graduate School		年度 Year	28 2016	29 2017	30 2018	31 2019	R2 2020		
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	入学志願者 Number of Applicants		59	72	60	49	63		
	入学学生 Number of Students Admitted		38	51	45	29	39		
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional Administration	入学志願者 Number of Applicants		7	14	10	17	7		
	入学学生 Number of Students Admitted		7	10	8	15	6		
経済学研究科 Economics	入学志願者 Number of Applicants		25	17	12	21	27		
	入学学生 Number of Students Admitted		15	14	7	13	19		
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	入学志願者 Number of Applicants		43	62	49	60	40		
	入学学生 Number of Students Admitted		35	48	37	52	35		
4月期入学 10月期入学	入学志願者 Number of Applicants		1	0	1	1	実施予定		
	入学学生 Number of Students Admitted		1	0	1	1			
合計 Total	入学志願者 Number of Applicants		135	165	132	148	137		
	入学学生 Number of Students Admitted		96	123	98	110	99		

※ 10月期入学は前年度の欄に計上

大学院(博士後期課程) GRADUATE SCHOOL				2020.5.1					
研究科 Graduate School		年度 Year	28 2016	29 2017	30 2018	31 2019	R2 2020		
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	入学志願者 Number of Applicants		5	3	3	4	3		
	入学学生 Number of Students Admitted		5	3	3	3	3		
合計 Total	入学志願者 Number of Applicants		5	3	3	4	3		
	入学学生 Number of Students Admitted		5	3	3	3	3		

※ 編入学・学士入学は除く。

※ 私費外国人留学生及びマレーシア政府派遣留学生を含む。

学生の定員及び現員

NUMBER OF STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES				2020.5.1					
学群・学類 Cluster・Faculty		区分 Classification	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現 員 Present Number of Students				
					1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences			685 ⁽³⁰⁾	2,900 ⁽⁶⁰⁾	394 ⁽³⁰⁹⁾	370 ⁽³³²⁾	398 ⁽⁴⁰⁷⁾	496 ⁽⁴⁵¹⁾	1,658 ^(1,499)
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture			260 ⁽¹⁰⁾	1,060 ⁽²⁰⁾	116 ⁽¹⁴⁹⁾	101 ⁽¹⁶⁴⁾	113 ⁽¹⁷⁸⁾	138 ⁽¹⁹¹⁾	468 ⁽⁶⁸²⁾
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences			205 ⁽¹⁰⁾	830 ⁽²⁰⁾	113 ⁽¹⁰⁰⁾	114 ⁽¹⁰³⁾	109 ⁽¹¹²⁾	130 ⁽¹²⁶⁾	466 ⁽⁴⁴¹⁾
昼間 Daytime			185 ⁽¹⁰⁾	790 ⁽²⁰⁾	100 ⁽⁹¹⁾	99 ⁽⁹⁷⁾	109 ⁽¹¹²⁾	130 ⁽¹²⁶⁾	438 ⁽⁴²⁶⁾
夜間主 Evening			20	40	13 ⁽⁹⁾	15 ⁽⁶⁾			28 ⁽¹⁵⁾
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration			220 ⁽¹⁰⁾	890 ⁽²⁰⁾	165 ⁽⁶⁰⁾	155 ⁽⁶⁵⁾	142 ⁽⁹⁰⁾	180 ⁽¹⁰²⁾	642 ⁽³¹⁷⁾
夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society				120			34 ⁽²⁷⁾	48 ⁽³²⁾	82 ⁽⁵⁹⁾
理工学群 Cluster of Science and Technology			160	680	134 ⁽³⁷⁾	140 ⁽²⁵⁾	145 ⁽³⁹⁾	182 ⁽⁴³⁾	601 ⁽¹⁴⁴⁾
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science			160	680	134 ⁽³⁷⁾	140 ⁽²⁵⁾	145 ⁽³⁹⁾	182 ⁽⁴³⁾	601 ⁽¹⁴⁴⁾
農学群 Cluster of Agricultural Sciences			100	200	50 ⁽⁵⁰⁾	55 ⁽⁵³⁾			105 ⁽¹⁰³⁾
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences			100	200	50 ⁽⁵⁰⁾	55 ⁽⁵³⁾			105 ⁽¹⁰³⁾
合計 Total			945 ⁽³⁰⁾	3,780 ⁽⁶⁰⁾	578 ⁽³⁹⁶⁾	565 ⁽⁴¹⁰⁾	543 ⁽⁴⁴⁶⁾	678 ⁽⁴⁹⁴⁾	2,364 ^(1,746)

※ ○は3年次編入学生定員で外数。

※ 黒文字は男子、赤文字は女子。

※ 夜間主コース(現代教養コース)の学生受入は平成30年度まで。

※ 平成31.4食農学群(食農学類)を開設(平成31.4学生受入)。

大学院(修士課程・専門職学位課程・博士課程) GRADUATE SCHOOLS				2020.5.1			
研究科名 Graduate School	専攻名 Majors	課程名 Course	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現 員 Present Number of Students		
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	教職実践専攻 Division of Professional Practice in Education	専門職学位課程 Professional Degree	16	32	14 ⁽⁹⁾		
	地域文化創造専攻 Creation of Regional Culture	修士課程 Master	17	34	10 ⁽¹⁹⁾		
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional Administration	学校臨床心理専攻 School and clinical Psychology	修士課程 Master	7	14	3 ⁽¹⁴⁾		
	地域政策科学専攻 Public Policy and Region Administration	修士課程 Master	20	40	18 ⁽⁹⁾		
経済学研究科 Economics	経済学専攻 Economics	修士課程 Master	10	20	13 ⁽⁷⁾		
	経営学専攻 Business Administration	修士課程 Master	12	24	20 ⁽⁰⁾		
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	共生システム理工学専攻 Symbiotic Systems Science and Technology	博士前期課程 Master	53	106	67 ⁽¹⁷⁾		
		博士後期課程 Doctor	6	18	12 ⁽³⁾		
	環境放射能学専攻 Environmental Radioactivity	修士課程 Master	7	14	5 ⁽⁴⁾		
合計 Total			148	302	162 ⁽⁸²⁾		

※ 黒文字は男子、赤文字は女子。

※ 平成31.4共生システム理工学研究科環境放射能学専攻開設(平成31.4学生受入)



卒業生数及び修了生数

NUMBER OF GRADUATES

学群・学類 UNDERGRADUATES

2020.5.1

区 分 Classification 学群・学類 Cluster・Faculty	課程及び学科 Course or Department	H20～ H26 2008～ 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	計 Total
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences		5,602	798	827	814	807	791	9,639
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture		1,986	281	292	301	295	293	3,448
人間発達専攻 Human Development		863	123	122	111	114	116	1,449
文化探究専攻 Cultural Exploration		705	100	111	124	117	112	1,269
スポーツ・芸術創造専攻 Sports and Arts		418	58	59	66	64	65	730
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences		1,574	227	234	213	237	205	2,690
法学専攻 Law		534	61	50	50	60	49	804
地域と行政専攻 Community Management		763	106	121	93	99	94	1,276
社会と文化専攻 Social and Cultural Studies		277	60	63	70	78	62	610
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration		1,632	244	241	234	224	233	2,808
経済分析専攻 Economic Analysis		273	54	48	40	31	33	479
国際地域経済専攻 International and Regional Economy		583	94	70	103	87	103	1,040
企業経営専攻 Business Administration		776	96	123	91	106	97	1,289
夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society		410	46	60	66	51	60	693
文化教養モデル Culture and Liberal Arts		95	8	6	12	11	14	146
法政策モデル Law and Policy		66	5	9	10	9	10	109
コミュニティ共生モデル Community Building and Preservation		112	26	29	25	23	24	239
ビジネス探究モデル Business		137	7	16	19	8	12	199
理工学群 Cluster of Science and Technology		1,212	161	172	169	184	188	2,086
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science		1,212	161	172	169	184	188	2,086
人間支援システム専攻 Human Support System		411	60	64	61	69	69	734
産業システム工学専攻 Industrial System		442	51	55	59	59	67	733
環境システムマネジメント専攻 Environmental System Management		359	50	53	49	56	52	619
合 計 Total		6,814	959	999	983	991	979	11,725

※ 平成16.10全学再編により、教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類)に改組, 理工学群(共生システム理工学類)を新設(平成17. 4学生受入)

大 学 院 GRADUATE SCHOOL

2020.5.1

科・課程 Course	修了年度 Year	S52～H25 1977～2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	計 Total
人 間 発 達 文 化 研 究 科 Human Development and Culture	専門職学位課程 Professional Degree						16	15	31
	修士課程 Master	151	42	40	32	32	30	32	359
教 育 学 研 究 科 Education	修士課程 Master	719						0	719
地 域 政 策 科 学 研 究 科 Public Policy and Regional administration	修士課程 Master	272	10	9	8	7	7	8	321
経 済 学 研 究 科 Economics	修士課程 Master	356	13	10	18	17	14	9	437
共 生 シ ス テ ム 理 工 学 研 究 科 Symbiotic Systems Science and Technology	修士課程 Master	85						0	85
	博士前期課程 Master	129	45	24	37	29	43	37	344
	博士後期課程 Doctor	7	4	2	2	3	4	2	24
合 計 Total		1,719	114	85	97	88	114	103	2,320

※ 教育学研究科は、平成24年度から在籍している学生がいない為、廃止

学部 FACULTY

2020.5.1

学部 Faculty	区 分 Classification	課程及び学科 Course or Department	S25～H23 1950～2011 計 Total
教育学部 Faculty Education			21,264 ※1
		小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course	9,338 ※2
		中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course	5,222 ※2
		養護学校教員養成課程 Teachers Course for Mentally and Physically Handicapped Children	485 ※2
		幼稚園教員養成課程 Kindergarten Teachers Course	590 ※2
		生涯教育課程 Department of Lifelong Education	835 ※3
		学校教育教員養成課程 Department of Teacher Training	1,337
		特別教科(理科)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Science Education)	601
		特別教科(保健体育)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Physical Education)	1,188
		その他 Others	7
2年課程 Two Year Courses		小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course	1,004 ※4
		中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course	657 ※4
行政社会学部 Faculty of Administration and Social Sciences			4,554 ※1
昼間主コース Daytime-centered Courses		行政学科 Law and Administration Department	2,469
		応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department	1,058
夜間主コース Evening-centered Courses		行政学科 Law and Administration Department	620
		応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department	407
経済学部 Faculty of Economics			15,353 ※1
昼間主コース Daytime-centered Courses		経済学科 Economics Department	6,211 ※5
		経営学科 Business Administration Department	4,197 ※5
		現代経済課程 Contemporary Economics Course	838
		企業経営課程 Business Management Course	1,206
		国際経済社会課程 International Economics and Society Course	599
		産業情報工学課程 Industrial Economics Engineering Course	151
夜間主コース Evening-centered Courses		経済学科 Economics Department	919 ※5
		経営学科 Business Administration Department	717 ※5
		現代経済課程 Contemporary Economics Course	205
		企業経営課程 Business Management Course	310
短大 Junior College			2,116 ※6
合 計 Total			43,287

- ※1 教育学部、行政社会学部、経済学部は平成17年度から学生募集停止
 ※2 小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程、幼稚園教員養成課程は平成11年度から学生募集停止
 ※3 生涯教育課程は平成7年4月設置
 ※4 2年課程は昭和33年度から学生募集停止
 ※5 経済学部経済学科、経営学科は平成8年度から学生募集停止
 ※6 短大は昭和55年3月廃止

専 攻 科 ONE-YEAR GRADUATE PROGRAM

専攻 Course	修了年度 Year	S31～H3 1956～1991 計 Total
教育専攻科 Education	保健体育専攻 Physical Education	30
	教育専攻 Pedagogy	8
	理科専攻 Science Education	19
経済学専攻科 Economics	経理経営専攻 Accounting and Management	24



卒業生就職状況(令和元年度)

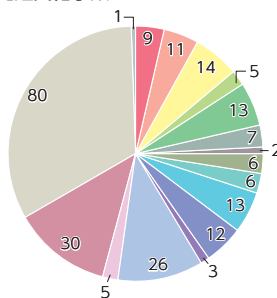
EMPLOYMENT AFTER GRADUATION

2020.5.1

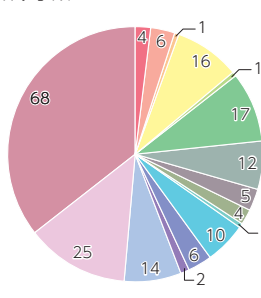
学類 Faculty		人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	計 Sub Total	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	計 Sub Total	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	計 Sub Total	夜間主コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	計 Sub Total	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	計 Sub Total	合 計 Total	
区分 Classification													
卒業生 Total Graduates		107 186	293	100 105	205	152 81	233	28 32	60	150 38	188	537 442	979
就職者 Total Employed		83 160	243	92 100	192	135 77	212	25 22	47	106 29	135	441 388	829
業種別 就職者内訳	農, 林, 漁, 鉱業 Agriculture, Forestry, Fishing, Mining	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0
	建設業 Construction	5 4	9	2 2	4	9 3	12	1 1	2	5 1	6	22 11	33
	製造業 Manufacturing	8 3	11	4 2	6	7 2	9	3 1	4	16 1	17	38 9	47
	電気・ガス・熱供給・水道業 Electricity, Gas, Heat Supply and Water	0 0	0	1 0	1	3 1	4	0 0	0	0 1	1	4 2	6
	情報通信業 Information and Communications	4 10	14	5 11	16	18 6	24	2 1	3	32 2	34	61 30	91
	運輸業, 郵便業 Transport and Postal Activities	2 3	5	1 0	1	4 2	6	3 0	3	4 0	4	14 5	19
	卸売業, 小売業 Wholesale and Retail Trade	7 6	13	4 13	17	16 13	29	5 6	11	8 6	14	40 44	84
	金融業 Finance	3 4	7	8 4	12	16 14	30	1 1	2	0 2	2	28 25	53
	保険業 Insurance	1 1	2	1 4	5	2 10	12	0 1	1	1 1	2	5 17	22
	不動産業, 物品賃貸業 Real Estate and Goods Rental and Leasing	1 5	6	3 1	4	5 1	6	2 0	2	2 1	3	13 8	21
	宿泊業, 飲食サービス業 Accommodations, Eating and Drinking Services	3 3	6	0 1	1	1 1	2	0 2	2	0 0	0	4 7	11
	教育, 学習支援業 Education, Learning Support	8 5	13	5 5	10	0 2	2	1 1	2	1 1	2	15 14	29
	医療, 福祉 Medical, Health Care and Welfare	1 11	12	2 4	6	0 4	4	0 2	2	1 0	1	4 21	25
	複合サービス事業 Compound Services	0 3	3	2 0	2	4 0	4	0 0	0	2 0	2	8 3	11
	サービス業 Service Industry	13 13	26	7 7	14	20 9	29	3 6	9	15 5	20	58 40	98
	国家公務員 National Government Services	2 3	5	14 11	25	7 2	9	0 0	0	4 1	5	27 17	44
地方公務員 Local Government Services	6 24	30	33 35	68	21 7	28	4 0	4	14 6	20	78 72	150	
教員 Teaching	19 61	80	0 0	0	2 0	2	0 0	0	1 1	2	22 62	84	
自営業 Self-Employment	0 1	1	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 1	1	
未定 Undetermined	4 6	10	4 2	6	4 0	4	0 5	5	2 0	2	14 13	27	
進学 Furthering Studies	11 12	23	1 1	2	4 1	5	2 2	4	38 9	47	56 25	81	
進学準備 Preparation for further study	1 1	2	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	1 1	2	
有職 Already Employed	0 0	0	0 0	0	0 0	0	1 2	3	0 0	0	1 2	3	
公務員等希望者 Preparing for Civil Exams	6 4	10	2 0	2	2 0	2	0 0	0	2 0	2	12 4	16	
その他の Others	2 3	5	1 2	3	7 3	10	0 1	1	2 0	2	12 9	21	
就職率(%) Total Employment Rate 就職者÷就職希望者(就職者+未定)	95.4% 96.4%	96.0%	95.8% 98.0%	97.0%	97.1% 100.0%	98.1%	100.0% 81.5%	90.4%	98.1% 100.0%	98.5%	96.9% 96.8%	96.8%	

※ 上段(黒)は男子, 下段(赤)は女子。

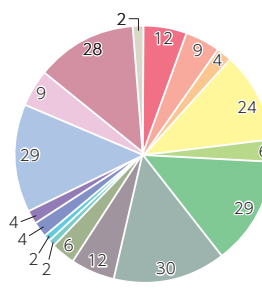
人間発達文化学類



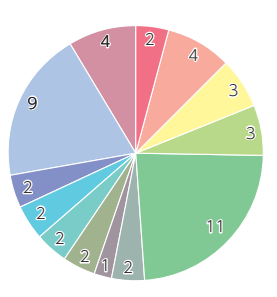
行政政策学類



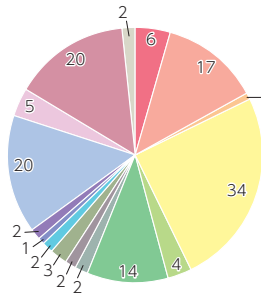
経済経営学類



夜間主コース (現代教養コース)



共生システム理工学類



- 農, 林, 漁, 鉱業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業, 郵便業
- 卸売業, 小売業
- 金融業
- 保険業
- 不動産業, 物品賃貸業
- 宿泊業, 飲食サービス業
- 教育, 学習支援業
- 医療, 福祉
- 複合サービス事業
- サービス業
- 国家公務員
- 地方公務員
- 教員
- 自営業

外国人留学生数

NUMBER OF INTERNATIONAL STUDENTS

留学生数部局別内訳 FACULTIES

2020.5.1

区分 Classification	学 類 Undergraduate School		大 学 院 Graduate School		計 Total
	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	
学類・研究科 Faculty・Graduate School					
人間発達文化学類・人間発達文化研究科 Faculty of Human Development and Culture- Graduate School of Human Development and Culture	4 (2)	6	3	1 (1)	14 (1) (2)
行政政策学類・地域政策科学研究科 Faculty of Administration and Social Sciences- Graduate School of Public Policy and Regional Administration	6	1	5	1	13
経済経営学類・経済学研究科 Faculty of Economics and Business Administration- Graduate School of Economics	21 (2)	8 (1)	5 (1)	1	35 (2) (2)
共生システム理工学類・共生システム理工学研究科 Faculty of Symbiotic Systems Science- Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology	17 (1)	0	(修士) 1	1	28 (2) (1)
			(博士前期) 6		
			(博士後期) 3 (2)		
食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	3	2	0	0	5
計 Total	51 (5)	17 (1)	23 (3)	4 (1)	95 (5) (5)

国別留学生数 NATIONALITIES

2020.5.1

区分 Classification	学 類 Undergraduate School		大 学 院 Graduate School		計 Total
	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	
国籍・地域 Nation・Region					
中国 China	21	3	14	1	39
ベトナム Vietnam	21	0	1 (1)	0	22 (1)
マレーシア Malaysia	5 (5)	0	0	0	5 (5)
モンゴル Mongolia	1	0	2	0	3
台湾 Taiwan	1	1	1	1	4
タイ Thailand	1	0	0	0	1
バングラデシュ Bangladesh	0	0	1	0	1
インド India	0	0	0	1 (1)	1 (1)
パプアニューギニア Papua New Guinea	0	0	1	0	1
アメリカ合衆国 United States of America	0	1	1 (1)	0	2 (1)
ベネズエラ Venezuela	1	0	0	0	1
ドイツ Germany	0	2	1	0	3
ハンガリー Hungary	0	3 (1)	0	1	4 (1)
ルーマニア Romania	0	1	0	0	1
スロベニア Slovenia	0	3	0	0	3
ベラルーシ Belarus	0	1	1 (1)	0	2 (1)
セルビア Serbia	0	2	0	0	2
計 Total	51 (5)	17 (1)	23 (3)	4 (1)	95 (5) (5)

※ 赤文字() は国費留学生で内数 ※ 青文字() は外国政府派遣留学生で内数 ※ 留学生数は在留資格が「留学」の者を計上

奨 学 生

SCHOLARSHIP STUDENTS

2020.5.1

区 分 Classification		対象学生数 Number of Eligible Applicants	日本学生支援機構奨学生 Japan Student Services Organization				その他の 奨学生 Other Scholarship	
学類・大学院 Faculty・Graduate School	給付奨学金 Grant-type scholarship		貸与奨学金 Loan-based scholarship		計 Total	比率 (%) Ratio		
			第 1 種 Loan 1	第 2 種 Loan 2				
人文社会 学群	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	848	73	227	169	469	53.0	11
	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	658	70	175	131	376	54.2	8
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	702	80	230	155	465	63.4	11
	夜間主コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	124	23	39	18	80	56.7	0
理工 学群	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	537	54	157	114	325	56.6	3
	食農学類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	108	4	24	16	44	40.7	5
大 学 院	Graduate School	108	0	26	5	31	28.7	6
合 計 Total		3,085	304	878	608	1,790	58.0	44

※基準日現在、1年生は未決定のため除く。

附属学校の定員及び現員

OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS

2020.5.1

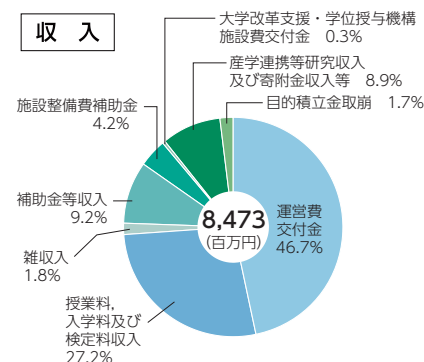
区分 Classification	入学(園)定員 Applicant Capacity	総定員 Student Capacity	現 員 Present Number						合 計 Total
			1 年 1st year	2 年 2nd year	3 年 3rd year	4 年 4th year	5 年 5th year	6 年 6th year	
学校別 School									
附 属 幼 稚 園 Kindergarten	30	90	3才児 13	4 3 year olds	4才児 13	9 4 year olds	5才児 9	15 5 year olds	35 28
附 属 小 学 校 Elementary School	105	630	54 49	53 52	59 43	50 50	52 51	60 42	328 287
附 属 中 学 校 Junior High School	140	420	69 69	60 75	60 76				189 220
附 属 特 別 支 援 学 校 Special Needs Education School	17	60	12 3	10 4	8 9	2 1	1 1	2 0	35 18
小 学 部 1-6	3	18	2 0	3 0	1 2	2 1	1 1	2 0	11 4
中 学 部 7-9	6	18	4 2	2 4	3 3				9 9
高 等 部 10-12	8	24	6 1	5 0	4 4				15 5
合 計 Total	292	1,200							622 571

※ 附属特別支援学校小学部は、1・2年、3・4年、5・6年で各1学級 計3学級 ※ 黒文字は男子、赤文字は女子。

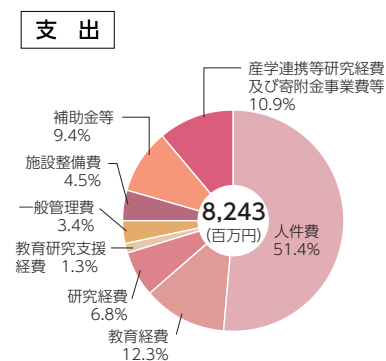
収入・支出決算額(令和元年度) ※金額は表示単位未満切捨てのため、必ずしも合計は一致しない。

CLOSING ACCOUNTS : REVENUE AND EXPENDITURE 2019

収入 REVENUE (百万円)		
区分 Division of Revenue	[令和元年度] Amount [2019]	[30年度] (参考) Amount [2018]
運営費交付金 Total Grant for Management Expense	3,959	3,770
授業料、入学料及び検定料収入 Tuition and Examination Fees	2,306	2,348
財産処分収入 Income earned through Disposition of Property	—	—
雑収入 Miscellaneous Income	149	141
補助金等収入 Subsidy Income	782	654
施設整備費補助金 Subsidies for Maintenance of University Facilities	350	517
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 Grant-in-Aid from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education for facilities maintenance	24	24
産学連携等研究収入及び寄附金収入等 Income from Industry-University Cooperative Research and Donations	755	874
引当金取崩 Reserve Fund Reversal	—	—
目的積立金取崩 Purpose Reserve Fund Reversal	144	50
合計 Total	8,473	8,381



支出 EXPENDITURE (百万円)		
区分 Division of Expenditure	[令和元年度] Amount [2019]	[30年度] (参考) Amount [2018]
人件費 Personal Expenses	4,236	4,123
教育経費 Education Expenses	1,011	901
研究経費 Research Expenses	557	620
教育研究支援経費 Expenses for Supporting Education and Research	105	95
一般管理費 Administrative Expenses	282	313
施設整備費 Supplies and Equipment Cost	374	541
補助金等 Subsidy	777	675
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 Budget for Industry-University Cooperative Research and Funding	897	734
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金 Payment to the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education for facilities maintenance	—	—
合計 Total	8,243	8,005

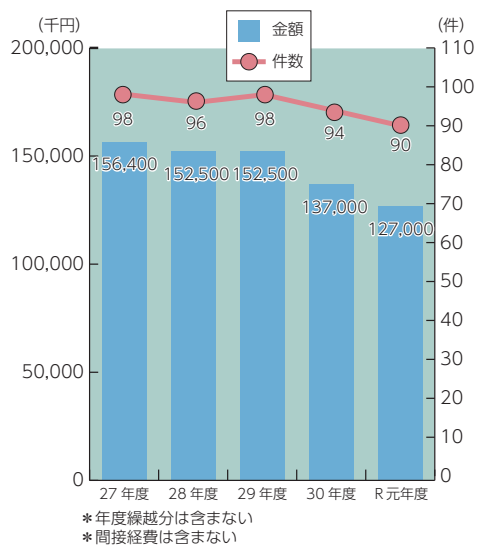


科学研究費助成事業

GRANTS-IN-AID FOR SCIENTIFIC RESEARCH

令和元年度 Fiscal Year 2019

研究種目 Research Category	件数 Number	直接経費(千円) Direct Expenses (in thousand yen)	間接経費(千円) Indirect Expenses (in thousand yen)
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	0	0	0
基盤研究(S) Scientific Research (S)	0	0	0
基盤研究(A) Scientific Research (A)	2	17,600	5,280
基盤研究(B) Scientific Research (B)	9	31,600	9,480
基盤研究(C) Scientific Research (C)	49	47,000	14,100
挑戦的研究(萌芽) Challenging Research Exploratory	2	3,700	1,110
若手研究(A) Young Scientists (A)	1	2,600	780
若手研究(B) Young Scientists (B)	12	6,600	1,980
若手研究 Early-Career Scientists	10	9,900	2,970
研究活動スタート支援 Research Activity Start-up	1	700	210
研究成果公開促進費(学術図書) Publication of Scientific Research Results (Scientific Literature)	1	2,700	0
研究成果公開促進費(データベース) Publication of Scientific Research Results (Databases)	1	3,400	0
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellows	1	1,200	0
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化) Fund for the Promotion of Joint International Research (Fostering Joint International Research)	1	0	0
合 計 Total	90	127,000	35,910

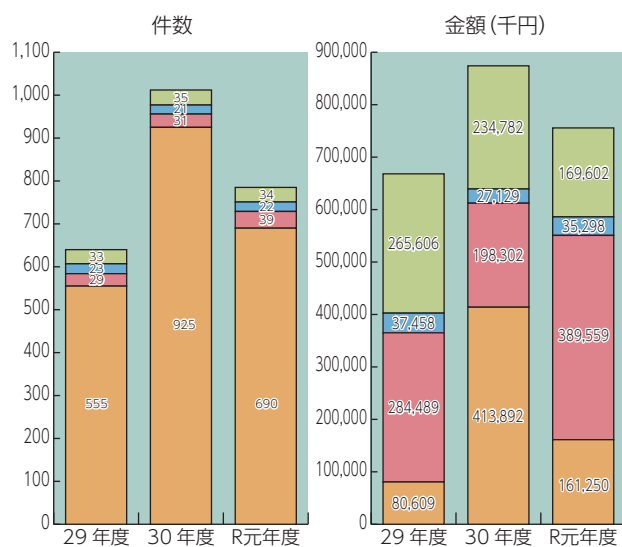


外部資金

FUNDS FROM OTHER SOURCES

令和元年度 Fiscal Year 2019

研究種目 Subject for Research	件数 Number	金額(千円) Amount
奨学寄附金 Grants and Endowments	690	161,250
受託研究 Contract Research	39	389,559
共同研究 Cooperative Research	22	35,298
受託事業 Trustee Business	34	169,602
合 計 Total	785	755,709





学術刊行物

ACADEMIC PUBLICATIONS

2020.5.1

部 局 等 Division	刊 行 物 名 Name	年発行回数 Issues per year
福 島 大 学 Fukushima University	福 島 大 学 研 究 年 報 Annual Report of Fukushima University	1 回
人 間 発 達 文 化 学 類 Faculty of Human Development and Culture	福島大学人間発達文化学類論集(人文科学部門) Bulletin of The Faculty of Human Development and Culture (Liberal Arts)	2 回
	// (社会科学部門) (Social Sciences)	2 回
	// (教育・心理学部門) (Education Psychology)	2 回
	// (自然科学部門) (Natural Sciences)	2 回
行 政 政 策 学 類 Faculty of Administration and Social Sciences	行 政 社 会 論 集 The Journal of Administration and Social Sciences	4 回
経 済 経 営 学 類 Faculty of Economics and Business Administration	商 学 論 集 Journal of Commerce, Economics and Economic History	4 回
保 健 管 理 セ ン タ ー Healthcare Center	福島大学保健管理センター紀要 Bulletin of the Healthcare Center	1 回
地 域 創 造 支 援 セ ン タ ー Center for Regional Affairs	地域創造支援センター年報 Annual Report of Center for Regional Affairs	1 回
	福 島 大 学 地 域 創 造 Fukushima University Journal of Regional Affairs	2 回
学 校 臨 床 支 援 セ ン タ ー School Clinical Support Center	学校臨床支援センター紀要 Bulletin of School Clinical Support Center	2 回
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization	うつくしまふくしま未来支援センター年報 Annual Report of Fukushima Future Center for Regional Revitalization	1 回



学内施設等

CAMPUS FACILITIES

附属図書館 UNIVERSITY LIBRARY

蔵 書 数 BOOKS AND PERIODICALS

2020.3.31

和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total	雑 誌 Periodicals		
			和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total
716,936	236,221	953,157	10,760	2,731	13,491

令和元年度利用状況 UTILIZATION

区 分 Division	人 数 Persons		冊 数 Volumes	
	年 間 per year	一日平均 per day	年 間 per year	一日平均 per day
館 外 貸 出 Loan	21,392	67.9	41,995	133.3
学 類 学 生 Undergraduates	17,206	54.6	31,130	98.8
大学院学生 Graduate Students	1,505	4.8	3,569	11.3
教 職 員 Faculty and Staff	2,097	6.7	5,652	17.9
学 外 者 External Users	584	1.9	1,644	5.2
入 館 者 数 Number of Visitors	298,325	947		

開館日数 315日 Open 315 days
(内土曜日39日) Saturday 39 days
(内日曜日49日) Sunday and holiday 49 days

※2015(平成27)年7月にリニューアルオープンしました。



附属図書館
University Library



閱 覧 室
Reading Room



ラーニングcommons 1
Learning Commons1

文 庫

Book collections

●大塚久雄文庫

The Hisao Otsuka Collection

故大塚久雄先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。その数、合わせて図書6,058冊、雑誌約212タイトル、抜刷約1,682点、その他、ノート、原稿、講演テープ、色紙、写真、住所録等個人資料一山。

●今野源八郎旧蔵書

The Genpachiro Konno Collection

故今野源八郎先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。その数、和洋合わせて図書4,455冊、雑誌294タイトル、資料13,553点、その他、パンフレット、リーフレット、地図、抜刷、コピーなど一山。

●その他

藤本文庫、藤田文庫、栗原文庫、二宮文庫、大森文庫、川村重和教授旧蔵書、松井秀親教授旧蔵書、三宅皓士教授旧蔵書、岡本友孝教授旧蔵書、佐藤恒久教授旧蔵書、珠玖拓治教授旧蔵書、下平尾勲名誉教授旧蔵書等。

大型コレクション

Large collection

●19～20世紀ロシア・ソビエト研究稀観資料集
19th~20th century Russian and Soviet rare materials collection

●ロシア帝国・ソビエト連邦法令集
Collection of laws and ordinances of the Russian Empire and Soviet Union

●帝政ロシア及び現代ソビエト社会・経済研究 第1部、同第2部
Imperial Russian government and contemporary Soviet society: Economic research part 1 and 2

●体育教育の歴史

A collection of rare books in the history of physical education EDUCATION FOR HEALTH & PUBLIC WELFARE: from the "survival of the fittest" to "fitting the many to survive"

震災関連資料コーナー

Earthquake disaster related materials corner

東日本大震災の関連資料をはじめ、震災を原発・ボランティア・郷土・教育・科学・防災・産業など多様な観点から扱った資料を配置。図書・雑誌・視聴覚資料など2020(令和2)年3月現在約7,000点。



総合情報処理センターは、1969(昭和44)年に学内共同利用施設「計算センター」としてスタートした。その後、1987(昭和62)年に学術研究・情報教育の高度化・多様化、社会における一層の情報化進展に対応するために、「情報処理センター」に改組、さらに2003(平成15)年には教育研究・地域連携のための情報発信など多様な役割を担うべく省令施設に格上げされ、「総合情報処理センター」となった。

本センターは、5つの演習室と自習用のスペースに300台を超えるパソコンが設置されており、「情報処理教育の場」・「自己学習スペース」として利用されているとともに、「教育・研究用システム及びキャンパスネットワーク(FAINS: フェインズ)の運用・管理」、「本学の認証基盤となる全学認証システムの運用・管理」、「情報システムの利用についての技術指導」などの業務を行っている。

環境放射能研究所 (IER) Institute of Environmental Radioactivity



環境放射能研究所は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性核種の環境中の挙動を長期間にわたって調査・解析し、解明することを目的として2013(平成25)年7月に設置された。国内の大学・研究機関、さらには実績ある海外の研究者・大学・研究機関と連携して研究活動を行っている。外国人研究者も多数在籍し、世界に開かれた環境放射能研究の先端研究拠点としての役割を担っている。

研究分野は大気、森林、河川湖沼、海洋と広範囲にわたる。事故から現在までの環境中の放射性物質の挙動の解明に加え、将来の挙動を予測することも重要である。これらの研究成果は、放射線防護や効果的な除染方法の策定、住民の帰還や産業の復興など、より具体的な復興活動の基礎となる。

環境中の放射性物質の移行のうち主なものとして水の作用による侵食、運搬、堆積によるものがあるが、それ以外にも様々なものがある。ひとつは生物作用による移行、つまり生態系への影響である。この研究課題では、野生動物や魚類への放射性セシウムの移行状況調査とそのメカニズム研究をはじめ、住民の避難によって行動範囲を拡大した野生動物がもたらすさまざまな影響などのテーマにも取り組んでいる。また、農作物をはじめとする植物がどのようなメカニズムで放射能を取り込むのか、土壌粒子の構造や土壌中の化学成分などミクロまで踏み込み、植物生理との関連を解明することも重要なテーマである。これらは、農林水産業の復興に際して懸念される問題やその発生メカニズムを扱う研究であり、問題に対する対策策定や帰還の判断に資するものである。さらに測定機器の開発や、環境放射能のアーカイブセンターとしての機能も備える。

2017(平成29)年度から、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)課題「チェルノブイリ災害後の環境管理支援技術の確立」を実施し、チェルノブイリと福島の間共同プロジェクトとして研究を進めている。また、2019(令和元)年度からは共同利用・共同研究拠点「放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点」事業を新たに開始し、当該年度においては本学を窓口とする共同研究(22件)を国内外の研究者とIER研究者が連携して行うと同時に、原発事故直後から系統的に採集された土壌アーカイブ試料の提供を開始し、環境放射能学研究成果へのアクセス拠点としての機能を一層強化した。教育機能としては、2019(令和元)年度より共生システム理工学研究科環境放射能学専攻(修士課程)を開設、2021(令和3)年度からは博士後期課程を設置する予定である。

今後もこれまでの国際的な取り組みを背景に、国際社会への発信力の強化、次世代の環境放射能分野の課題を担う人材の育成を行っていく。

人間発達文化学類附属学校臨床支援センター School Clinical Support Center



旧総合教育研究センターの改組により、5部門のうち3部門が人間発達文化学類の附属センターとして2019(平成31)年4月に設置された。

本センターは学校連携部門(附属学校園の教育研究の支援等)、教育相談部門(附属臨床心理・教育相談室を併設した教育現場等からの教育相談等)、現職研修部門(教職員研修及び学校、学校教育関係機関との連携)の3部門からなり、人間発達文化学類の学校教育に関する教育・研究ならびに附属学校園との連携等を総合的に支援する組織として再スタートした。また、多目的(授業、学術講演、各種セミナー、ワークショップ、会議等)に利用可能な特別教室と少人数による教育実践分析・検討、演習、研究会等ができる授業分析室の施設があり、広く活用されている。

教育推進機構 Organization for the Promotion of Education

教育推進機構は、福島大学の教育理念と目標に基づき、本学の学士課程教育及び大学院課程教育の改善・充実を図るとともに学生の確保、国際交流、学生支援及び就職支援に関する調査・研究、企画立案及び実施を全学的に行うことを目的として、2019(平成31)年4月に設置しました。本機構には、保健管理センター、国際交流センター、アドミッションセンターを置いています。

保健管理センター Healthcare Center



1981(昭和56)年4月に設置され、1982(昭和57)年3月に専用の建物が竣工。同年4月より本格的に業務が開始された。本センターには、医師(内科・外科、精神科)、保健師が配置されており、学生および教職員の健康の保持増進を図るために、保健管理に関する専門業務を行っている。具体的には、保健管理計画に企画及び立案、定期及び臨時の健康診断の実施と事後対応、精神的及び身体的健康相談、外傷・急病の応急処置、カウンセリングなどである。

また、月に一度、外部より内科、婦人科(女性医師)の医師が来所し、それぞれが専門の相談に応じている。

国際交流センター International Center



福島大学国際交流センターは、海外の大学等との学術交流及び学生交流の企画・推進、留学生教育の企画・立案及び教育研究面での国際交流を図ることを目的として、2012(平成24)年4月に設立された。留学生の派遣及び受入れ、短期留学プログラムの企画・立案、留学生の修学上及び生活上、修学環境の整備及び充実に関するサポートを行っている。具体的には、学生の留学や国際交流活動についての相談、留学生の奨学金や在留資格、地域でのイベント等についての案内や手続き業務がある。

日本人学生が留学や語学検定試験を受験する際に参考となる図書や、留学生が日本語や日本文化を学ぶための図書、英文書籍の閲覧スペースを設置しており、書籍の貸出も行っている。

アドミッションセンター Admission Center



アドミッションセンターは、アドミッションポリシーに応じた入学者選抜を実現するための具体的方策を企画・立案し、円滑な入学者選抜の実施を図ることを目的に、2016(平成28)年4月に設置された。

本センターは、高大接続改革の環境変化の下、本学が実施すべき選抜制度の実現にむけて、入学者選抜に係る調査研究、入学者選抜結果の分析及びその評価を行うとともに、入学者の学業成績等の追跡調査を行い、全学で連携協力して入学者選抜に係る企画・立案するほか、入学希望者及びその関係者を対象とした入試広報を行うことにより、継続的に優秀な学生を確保するための活動をしている。

研究推進機構 Organization for the Promotion of Research

研究推進機構は、福島大学における教員の個人的及び集団的研究活動並びに地域社会との円滑な連携協力活動を支援するとともに、本学の知的財産の保護、育成、管理及び活用を効率的に推進することにより、本学の研究活動の活性化並びに社会貢献を積極的に果たしていくことを目的として、2005(平成17)年5月に設置しました。研究活動推進、地域連携及び知的財産に係る学内組織と相互に連携し、その総合調整を図ります。

地域未来創造機構 Organization for Future Regional Development

地域未来創造機構は、福島大学の研究教育活動における地域社会との円滑な連携・協働を支援し、本学の社会貢献を積極的に果たしていくために、地域連携・協働活動を推進するとともに、地域連携・協働に係る学内組織と相互に連携し、その総合調整を図るため2019(平成31)年4月に設置しました。本機構には、地域創造支援センター、うつくしまふくしま未来支援センターを置いています。

地域創造支援センター(CERA) Center for Regional Affairs



地域創造支援センターは、東北経済研究所(1921(大正10)年設置)に始まり、行政社会学部新設にともない発足した「地域研究センター」(1988(昭和63)年設置)を継続発展させ、大学研究・教育の成果を地域の活性化や人材の育成に役立てていくことを目的として2001(平成13)年4月に全学センターとして設置された。2008(平成20)年4月には、教育面における社会貢献である「生涯学習活動」を推進する生涯学習教育研究センター(1995(平成7)年4月設置)と統合し、地域と大学との協働・連携を推進するセンターとして、以下の活動を行っている。

- 自治体及び産業界との連携・相談窓口業務、研究シーズの出展、地域フォーラムの開催
 - 生涯学習事業(公開講座・公開授業・出前講座)及び地域社会連携事業の企画運営
 - CERAの広報誌・機関紙の発行、地域の経済社会に関する資料収集活動。貴重資料(松川資料室等)の管理
- 2019(令和元)年度は、地域人材育成やイノベーション創出のための事業として大学・自治体・金融機関等相互の産学官金連携に関する連携コーディネーター等連絡会議の実施や福島県からの受託事業である「リーディング起業家創出事業」に取り組んだほか、研究成果の社会還元を目的に研究推進機構と連携し福島大学研究・地域連携成果報告会や、郡山市や伊達市と共催で地域活性化フォーラムを開催した。

うつくしまふくしま未来支援センター(FURE) Fukushima Future Center for Regional Revitalization



東日本大震災や福島第一原子力発電所事故により世界的に知れ渡るところとなった福島の住民は、困難を乗り越え、被災地を復旧・復興させていくという強い意志を持って立ち上がっている。

地域と共に歩んできた福島大学は、こうした人々とともに力を合わせ、長期に及ぶ復旧・復興に組織的に対応するため、2011(平成23)年4月に「うつくしまふくしま未来支援センター」を設立した。

- 本センターでは、自治体等と協力しながら、
- ・被災したこどもたちの学びや自立への支援
 - ・地域コミュニティの再生と地域産業の復興への支援
 - ・福島県での教訓を教材とした防災教育の開発・発信
- さらに、双葉郡楢葉町や川内村、南相馬市にもサテライトを設置し、地域に密着した支援活動を展開している。

学 生 寮 Dormitories



2020.5.1

寮 名 Name	如月寮 Kisaragi Dormitory	信夫寮 Shinobu Dormitory	葵 寮 Aoi Dormitory
構 造 ・ 面 積 Structure・Area	R 5 F 3,466㎡	R 4 F 2,701㎡	R 4 F 2,654㎡
収 容 対 象 Occupants	男子学生 Male	男子学生 Male	女子学生 Female
室 数 Bedrooms	200	150	150
収 容 可 能 人 員 Capacity	200	150	150
現 員 Present Occupancy	194	145	147

大 学 会 館 University Hall



大学会館
University Refectory



大食堂 (Dining ReaF)
Large Cafeteria



大食堂 (Dining ReaF)
Large Cafeteria



Quick Lunchグリーン
Quick Lunch Green

2020.5.1

	施設名 Facilitie	面積 (㎡) Area	席・豊数 Capacity
1 階 (1F)	大 食 堂 (Dining ReaF) Large Cafeteria	1,046	770席
	売 店 Shop	294	
2 階 (2F)	Quick Lunchグ リ ー ン Quick Lunch Green	186	140席
	ロ ビ ー Lobby	98	
	大 集 会 室 Large Assembly Hall	270	250席
	小 集 会 室 Small Assembly Hall	35	32席
	//	46	32席
	和 室 Japanese Room	32	12畳
	学 生 総 合 相 談 室 Student Counseling Office	35	
	ア ク セ シ ビ リ テ ィ 支 援 室 Accessibility support room	35	
	カ ウ ン セ リ ン グ ル ーム Counseling room	18	
	//	18	
	学 生 総 合 相 談 室 分 室 Student General Consultation Room Branch Office	22	
	厨 房 ・ そ の 他 Kitchen and Others	1,049	

サテライト等

SATELLITE ETC.

街なかランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA



街なかランチ舟場は、2009(平成21)年10月1日、福島市舟場町の職員会館を改修し、教職員の福利厚生施設及び地域との連携を推進する拠点施設として設置され、以下の事業に使用されている。

●地域社会、地域住民の福祉・文化の向上を支援

- 地域の皆様を対象とした公開講座やセミナーなどを開講
- 地域の皆様からの臨床心理・教育相談に対応

●産官学連携事業

- 技術相談、共同研究、受託研究等
- セミナー、会議の開催

●本学教員の教育研究活動

- 講演会、研究会の開催
- ゼミ、フィールド調査時の拠点等



国際交流会館 International House

2020.5.1

名 Room	称	1室当り面積(m ²) Area	部屋数 Number of Rooms
単 Studio	身 室	12	38
夫 One-Bedroom	婦 室	35	5
家 Two-Bedroom	族 室	52	2
多 Multipurpose Hall	目 的 ホ ール	112	1
和 Japanese Room	室	24	1
ラ Laundry Room	ン ド リ ー ・ ル ー ム	14	2
談 Lounge	話 室	14	2
事 Office	務 室	19	1

※ 単身室は主に留学生用、夫婦室・家族室は研究者用。



国際交流会館
International House



多目的ホール
Multipurpose Hall

福島大学東京連絡事務所(東京都渋谷区)

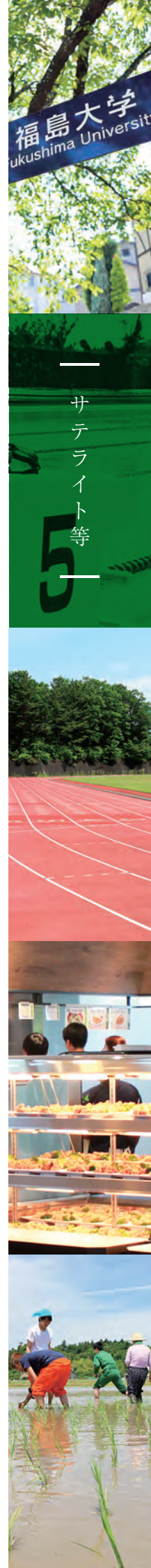
Fukushima University Tokyo Liaison Office (Shibuya Ward, Tokyo)

本学学生が首都圏での就職活動やゼミ活動の連絡場所として、また、入試広報等の活動拠点とする目的のため、福島大学信陵同窓会東京信陵会「信陵会館」内に2006(平成18)年4月1日に開設。

うつくしまふくしま未来支援センター相双地域支援サテライト (檜葉本所、川内分室、南相馬分室)

Soso Area Support Satellite (Naraha Satellite, Kawauchi branch Office, Minamisoma branch Office)

うつくしまふくしま未来支援センターは、東日本大震災及び原発事故に伴い避難を余儀なくされた福島の被災者と被災地域の復旧・復興の支援に取り組んでおり、相双地域支援サテライトは、現地と大学を繋ぐ拠点として被災地域に密着した活動を行っている。



土地・建物面積

PROPERTIES

2020.5.1

部 局 等 Division	土地 (㎡) Land	建物 (延㎡) Building	備 考 Location
事務局・学類・附属図書館 Head Office・Faculties・Library	432,894	95,070	金谷川 Kanayagawa
附 属 小 学 校 Elementary School	18,804	9,018	新浜町 Shinhamacho
附 属 中 学 校 Junior High School	34,808	6,177	浜田町 Hamada-cho
附 属 特 別 支 援 学 校 Special Needs Education School	12,031	4,307	八木田 Yagita
附 属 幼 稚 園 Kindergarten	5,033	615	浜田町 Hamada-cho
国 際 交 流 会 館 International House	5,439	1,412	舟場町 Funaba-cho
街 な か ブ ラ ン チ 舟 場 Machinaka Branch FUNABA		402	
山 の 家 Mountain Lodge	5,843	419	高 湯 Takayu
如 春 荘 Joshunso	1,249	273	森 合 Moriai
艇 庫 Boathouse	997	342	木 幡 Kohata
農 場 Farm	19,187	0	松川町 Matsukawa-machi
桜 木 町 住 宅 Sakuragicho Accommodation	2,185	1,461	桜木町 Sakuragi-cho
野 田 住 宅 Noda Accommodation	8,769	4,675	野田町 Noda-machi
松 浪 住 宅 Matsunami Accommodation	1,753	1,338	松浪町 Matsunami-cho
そ の 他 Others	5,788	0	
計 Total	554,780	125,509	

金谷川団地屋外体育施設の現況 OUTDOOR SPORTS FACILITIES

名 称 Name	内 容 Area	
陸 上 競 技 場 Athletic Field	400mトラック(第4種公認)全天候	1 面
バレーボールコート Volleyball Courts	(夜間照明)	5 面
テニスコート Tennis Courts	(一部全天候・夜間照明)	10面
プー ル Swimming Pool	9コース 50m(公認)	1 基
ハンドボールコート Handball Courts		5 面
野 球 場 Baseball Field	両翼90m、中堅100m (夜間照明)	1 面
サッカー・ラグビー場 Football Field	(夜間照明)	1 面
ゴルフ練習場 Golf Field	9打席	1 面
馬 場 Riding Ground		1 面

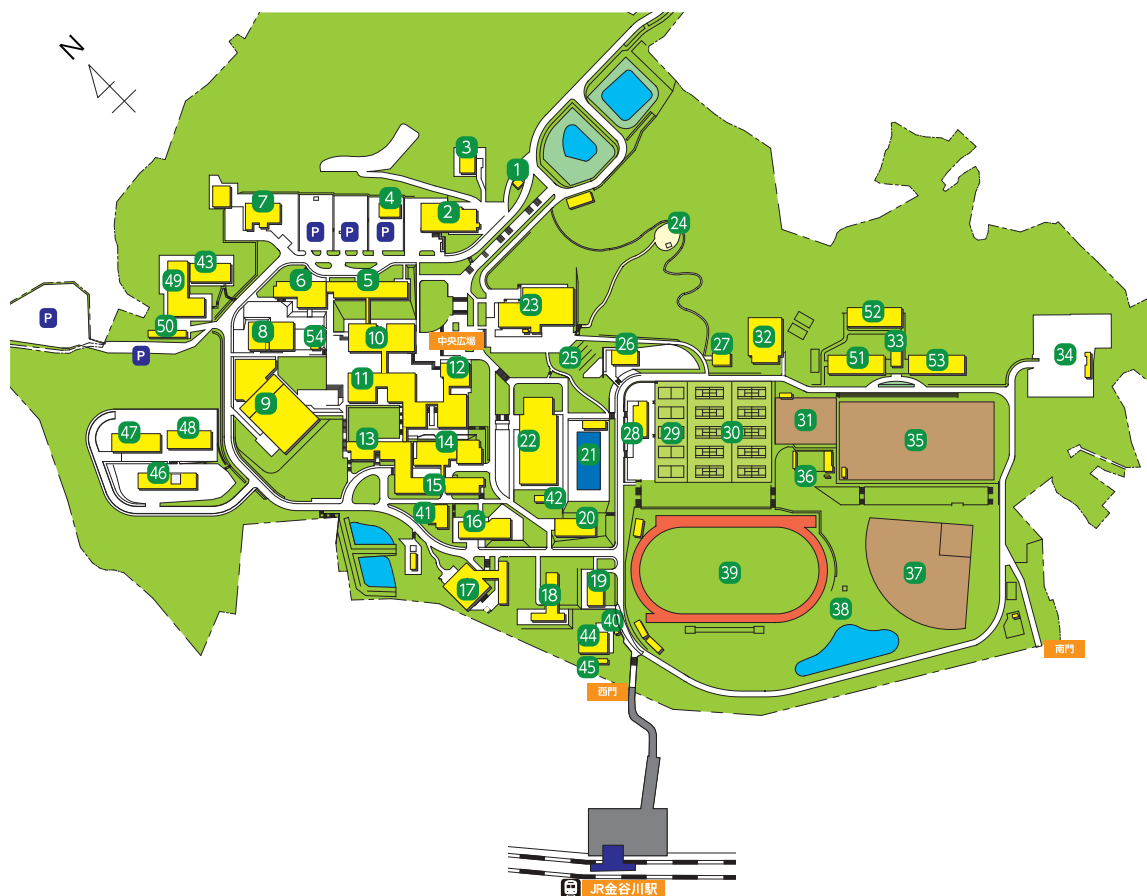
金谷川団地建物の現況 CAMPUS FACILITIES

名 称 Name	構 造 Structure	延面積 (㎡) Space
人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture	SR7F	5,979
行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences	SR8F	5,690
経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration	SR8F	6,710
共生システム理工学類棟 Faculty of Symbiotic Systems Science	SR7F	5,855
附属図書館 Library	R3F・4F	10,638
保健管理センター Healthcare Center	R2F	441
総合情報処理センター Information Network Center	R3F	2,204
学校臨床支援センター School Clinical Support Center	R4F	1,995
食農学類管理棟 Administration Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences	R5F	2,530
食農学類研究棟 Research Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences	R5F	4,388
農機具置場 Farm Machinery Center	S1F	198
環境放射能研究所本棟 Institute of Environmental Radioactivity (Main Building)	SR6F	3,994
環境放射能研究所試料保存棟 Sample Storage Facility	S1F	583
環境放射能研究所分析棟 Analytical Laboratory	S2F	1,360
事務局棟 Headquarters	R4F	2,440
学生活動センター Building for Student Council	S2F	229
S 講義棟 Lecture Halls-S	R4F	4,360
M 講義棟 Lecture Halls-M	R3F	2,755
L 講義棟 Lecture Halls-L	R1F	1,621
体 育 館 Gymnasium	RS1F・2F	2,652
第2体育館 2nd Gymnasium	RS2F	1,126
保健体育棟 Health and Physical Education Bldg.	R2F	924
音 楽 棟 Music Bldg.	R3F	1,190
美 術 棟 Fine Arts Bldg.	R2F	1,267
共生システム理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory	S7F	6,857
理工共通棟 SSS Technical Laboratory	R1F	404
共生システム理工学類後援募金記念棟 Memorial Laboratory of Supporters Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science	RC1F	334
プレハブユニット棟 Temporary Administration Building	S2F	121
宇宙線測定室 Cosmic Rays Observatory	S1F	43
大 学 会 館 University Refectory	R2F	3,184
文化系サークル棟 Building for Student Societies	R3F	885
体育系サークル棟 Varsity Building	R2F	710
合宿研修施設 Training House	R1F	174
弓 道 場(5人立) Archery Field	S1F	120
学生寮管理棟 Dormitory Administration Office	R1F	260
〃 如月寮 Kisaragi Dormitory	R5F	3,466
〃 信夫寮 Shinobu Dormitory	R4F	2,701
〃 葵 寮 Aoi Dormitory	R4F	2,654
警 務 員 室 Security Office	R1F	34
西門警務員室 Security Office	R1F	10
車 庫 Garage	R1F	219
中央機械室 Power Supply Center	R2F	883
受水槽ポンプ室 Pump Room	R1F	130
中水処理施設 Sewage Disposal Plant	RS1F	116
そ の 他 Others		636
計 Total		95,070

建物配置図

CAMPUS MAP

金谷川団地 KANAYAGAWA CAMPUS



- | | |
|--|--|
| ① 警務員室 Security Office | ③⑩ テニスコート Tennis Courts |
| ② 事務局棟 Headquarters | ③⑪ ハンドボールコート Handball Courts |
| ③ 保健管理センター Healthcare Center | ③⑫ 第2体育館 2nd Gymnasium |
| ④ 車庫 Garage | ③⑬ 学生寮管理棟 Dormitory Administration Office |
| ⑤ 経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration | ③⑭ 馬場 Riding Ground |
| ⑥ 行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences | ③⑮ サッカー・ラグビー場 Football Field |
| ⑦ 中央機械室・受水槽ポンプ室 Power Supply Center・Pump Room | ③⑯ 弓道場 Archery Field |
| ⑧ 総合情報処理センター Information Network Center | ③⑰ 野球場 Baseball Field |
| ⑨ 附属図書館 Library | ③⑱ ゴルフ練習場 Golf Field |
| ⑩ S講義棟 Lecture Halls-S | ③⑲ 陸上競技場 Athletic Field |
| ⑪ M講義棟 Lecture Halls-M | ④① 西門警務員室 Security Office |
| ⑫ L講義棟 Lecture Halls-L | ④② 共生システム理工学類後援募金記念棟
Memorial Laboratory of Supporter's Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science |
| ⑬ 人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture | ④③ プレハブユニット棟 Temporary Administration Building |
| ⑭ 共生システム理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory | ④④ 食農学類管理棟
Administration Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences |
| ⑮ 共生システム理工学類棟 Faculty of Symbiotic Systems Science | ④⑤ 中水処理施設 Sewage Disposal Plant |
| ⑯ 学校臨床支援センター School Clinical Support Center | ④⑥ 宇宙線測定室 Cosmic Rays Observatory |
| ⑰ 美術棟 Fine Arts Bldg. | ④⑦ 環境放射能研究所分析棟 Analytical Laboratory |
| ⑱ 音楽棟 Music Bldg. | ④⑧ 環境放射能研究所本棟
Institute of Environmental Radioactivity (Main Building) |
| ⑲ 理工共通棟 SSS Technical Laboratory | ④⑨ 環境放射能研究所試料保存棟 Sample Storage Facility |
| ⑳ 保健体育棟 Health and Physical Education Bldg. | ④⑩ 食農学類研究棟
Research Building, Faculty of Food and Agricultural Sciences |
| ㉑ プール Swimming Pool | ⑤① 農機具置場 Farm Machinery Center |
| ㉒ 体育館 Gymnasium | ⑤② 如月寮 Kisaragi Dormitory |
| ㉓ 大学会館 University Refectory | ⑤③ 信夫寮 Shinobu Dormitory |
| ㉔ 信陵公園 Shinyou Park | ⑤④ 葵寮 Aoi Dormitory |
| ㉕ 野外ステージ Outdoor stage | ⑤⑤ 学生活動センター Building for Student Council |
| ㉖ 文化系サークル棟 Building for Student Societies | |
| ㉗ 合宿研修施設 Training House | |
| ㉘ 体育系サークル棟 Varsity Building | |
| ㉙ バレーボールコート Volleyball Courts | |

建物配置図



附属学校園 Off-Campus K-12 Schools

■附属小学校 Elementary School



- ① 小学校校舎(南校舎)
School Building(south school building)
- ② // (北校舎)
(north school building)
- ③ 小学校体育館
Gymnasium

■附属中学校 Junior High School



- ① 中学校校舎
Junior High School Building
- ② // 体育館
Gymnasium
- ③ 幼稚園園舎
Kindergarten
- ④ // 幼児教育センター
Early Childhood Education Center

■附属幼稚園 Kindergarten



■附属特別支援学校 Special Needs Education School



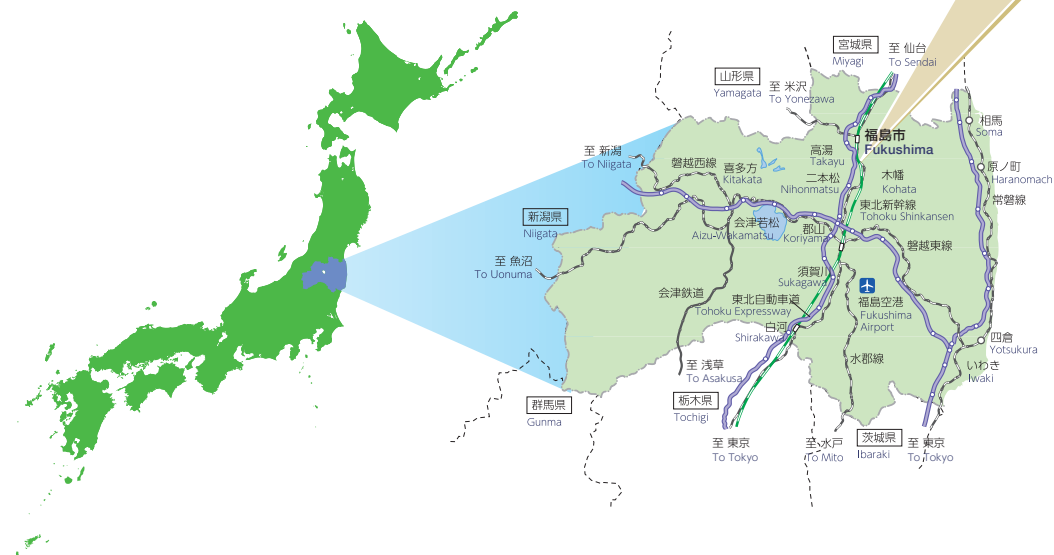
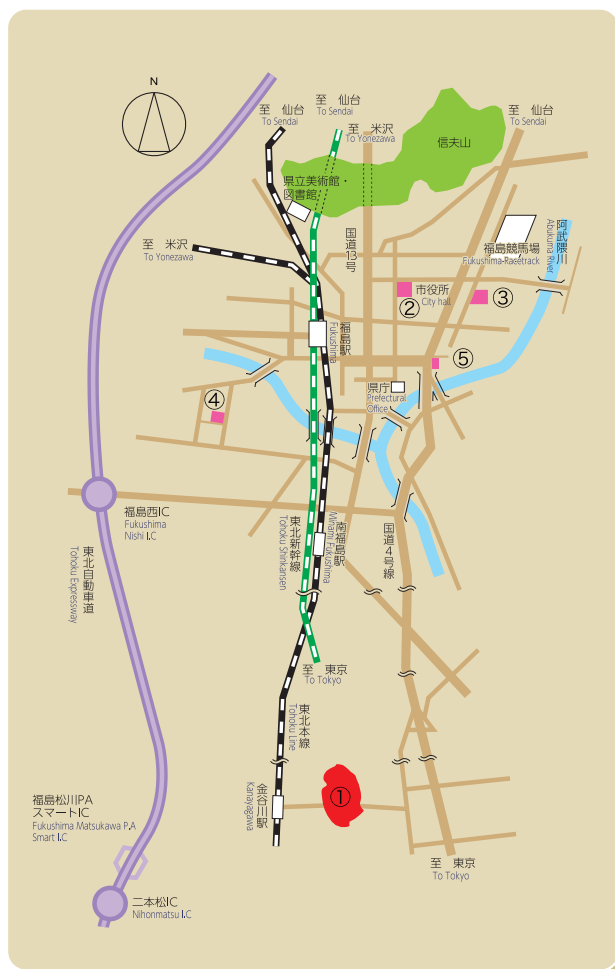
- ① 特別支援学校校舎(小学部)
School Building (1-6)
- ② // (中学部)
(7-9)
- ③ // (高等部)
(10-12)
- ④ // 体育館
Gymnasium
- ⑤ // 木工室
Woodworking Room
- ⑥ // 日常生活訓練施設
Training Facility

部局等の所在地案内図

LOCATION OF OFFICES

交通機関案内 TRANSPORTATION

- ① 福島大学 Fukushima University
JR東北本線「金谷川駅」下車徒歩10分
Take the Tohoku-Line from Fukushima Station to Kanayagawa Station, which takes about 10 minutes. Then about 10 minutes on foot.
- ② 附属小学校 Elementary School
福島交通福島駅東口バス発着所から市内循環1コース約10分、「附属小前」下車
Take the "Round 1" course bus at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fuzokusho". (It takes 10 minutes)
- ③ 附属中学校 Junior High School
附属幼稚園 Kindergarten
福島交通福島駅東口バス発着所から伊達・藤田・保原方面行乗車、約8分、「東高校前」下車徒歩5分
Take the bus for "Date・Fujita・Hobara" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Higashiko". It takes about 8 minutes, then 5 minutes on foot.
- ④ 附属特別支援学校
Special Needs Education School
福島交通福島駅東口バス発着所から荒井・土湯方面行乗車約15分、「福島ふそう前」下車徒歩5分
Take the bus for "Arai・Tsuchiyu" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fukushima-Fuso". It takes 15 minutes, then 5 minutes on foot.
- ⑤ 国際交流会館
International House
福島大学サテライト「街なかブランチャ舟場」
Fukushima University Satellite [Machinaka Branch FUNABA]



部局等の所在地案内図

部局等の所在地及び電話番号

CONTACT ADDRESSES

2020.5.1

部 局 等 Division		電 話 番 号 Telephone	所 在 地 Address
人文社会学群	人 間 発 達 文 化 学 類 Faculty of Human Development and Culture	024-548-8103	〒960-1296 福島市金谷川1番地
	行 政 政 策 学 類 Faculty of Administration and Social Sciences	024-548-8253	
	経 済 経 営 学 類 Faculty of Economics and Business Administration	024-548-8353	
理工学群	共 生 シ ス テ ム 理 工 学 類 Faculty of Symbiotic Systems Science	024-548-5213	〒960-1296 福島市金谷川1番地
食農群	食 農 学 類 Faculty of Food and Agricultural Sciences	024-548-8212	
附 属 図 書 館 University Library		024-548-8083	
保 健 管 理 セ ン タ ー Healthcare Center		024-548-8068	〒960-1296 福島市金谷川1番地
地 域 創 造 支 援 セ ン タ ー Center for Regional Affairs		024-548-8012	
総 合 情 報 処 理 セ ン タ ー Information Network Center		024-548-8018	
人間発達文化学類附属学校臨床支援センター School Clinical Support Center		024-548-8110	
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center For Regional Revitalization		024-504-2834	
国 際 交 流 セ ン タ ー International Center		024-503-3066	
ア ド ミ ッ シ ョ ン セ ン タ ー Admission Center		024-548-8052	
環 境 放 射 能 研 究 所 Institute of Environmental Radioactivity		024-504-2114	
事 務 局 Administration Bureau		学 長 室 024-548-5224 監 査 室 024-548-5193 総 務 課 024-548-8006 校友会・基金支援室 024-503-4991 人 事 課 024-548-8007 財 務 課 024-548-8016 施 設 課 024-548-8021 教 務 課 024-548-8053 学生・留学生課 024-548-8061 キャリア支援課 024-548-8108 入 試 課 024-548-8064 研究振興課 024-548-8009 地域連携課 024-548-8012 学術情報課 024-548-8083	
如 Kisaragi Dormitory	月	寮	〒960-1248 福島市金谷川5番地
信 Shinobu Dormitory	夫	寮	
葵 Aoi Dormitory		寮	

※平成12年地名変更 金谷川←松川町浅川字直道

附 属 幼 稚 園 Kindergarten	024-534-7962	〒960-8107 福島市浜田町12番39号
附 属 小 学 校 Elementary School	024-534-6441	〒960-8022 福島市新浜町4番6号
附 属 中 学 校 Junior High School	024-534-6442	〒960-8107 福島市浜田町12番26号
附 属 特 別 支 援 学 校 Special Needs Education School	024-546-0535	〒960-8164 福島市八木田字並柳71番地
国 際 交 流 会 館 International House	024-521-2428	〒960-8103 福島市舟場町4番30号
街 な か プ ラ ン チ 舟 場 Machinaka Branch FUNABA		
如 Joshunso	春	荘 〒960-8003 福島市森合字台13番地9号
艇 Boathouse		庫 〒964-0203 二本松市木幡字西和代191番地9号
桜 木 町 住 宅 Sakuragicho Accommodation		〒960-8133 福島市桜木町8番1号
野 田 住 宅 Noda Accommodation		〒960-8055 福島市野田町五丁目7番
松 浪 住 宅 Matsunami Accommodation		〒960-8114 福島市松浪町1番29号

基金の概要

本基金では、本学の全学的な事業を支援する「一般基金」と、用途をあらかじめ特定した上でご寄附いただく「特定基金」で構成しております。寄附者の皆様のご期待やご意思に応えるべく有効に活用させていただきます。

一般基金

大学全体の活動を広く支援する基金です。以下の支援事業に活用させていただきます。

- ☐ 教育・学生支援事業
- ☐ 研究推進事業
- ☐ 大学の発展・充実に資する事業

特定基金

寄附者様に用途を特定いただき、その事業を支援する基金です。

- ☐ 福島大学しのぶ育英奨学金基金
- ☐ 福島大学農学支援基金
- ☐ 福島大学経済経営学類創立100周年記念教育支援基金

※特定基金へのご寄附を希望される際は、福島大学 総務課 校友会・基金支援室へご連絡ください。

教育・学生支援事業

地域の再生復興を見据えながら、グローバル化が進展する社会で活躍できる「強い人材」の育成をめざし、学生が存分に勉学に励み、国際性を育み、社会的実践力を身に付けることができるような教育環境を整備することを目的とし、以下の事業を支援します。

- ① 学生支援事業 ② 国際交流事業 ③ 学生教育環境整備事業 ④ その他事業（課外活動や就職活動への支援を実施）



ベトナム・日越大学短期研修
現地の学生と民族衣装を着て記念撮影



カナダ・ウィニペグ大学短期語学研修修了式での記念撮影



実践ロシア語演習（ロシア・ハプロフスクにて）

研究推進事業

学術活動、地域交流活動及び学生を含めた国際交流活動などの学術振興の一層の進展を図るために、研究推進に関わる様々な事業へ助成を行っています。

主な助成事業の実績（平成12年度～30年度計）
[単位：千円]

助成項目	件数	金額
学術出版・叢書刊行	42	53,527
学会等開催	136	18,169
教員外地研究	5	6,000
地域との学術交流	34	13,638
研究者海外派遣	91	13,227
国内学会参加	69	1,321
海外学会参加	48	4,720
協定校学術交流	28	7,564
(特別) 学生留学・教育	278	24,051
(特別) 事務職員研修	49	7,337
(特別) その他	40	12,722
学術研究支援助成	168	46,930
計	988	209,206

大学の発展・充実に資する事業

本学の教育・研究・学生サービス等のより一層の充実に資する事業を目的とし、社会貢献及び連携事業、学内環境（施設設備を含む）整備等に関する事業に活用いたします。



震災・復興展示コーナー
「東日本大震災 福島大学の記憶」開設

ご協力をお願いする金額

法人・団体様（一口 1万円）

個人様（一口 5千円）

ご寄附の方法

- ☒ 郵便振替 ☒ 銀行振込
- ☒ クレジットカード決済 ☒ コンビニ決済

振込

・福島大学基金パンフレット添付の「払込取扱票」により銀行の窓口でお振込みをお願いします。ご希望の方には、パンフレットをお送りいたしますので、下記お問い合わせ先までメールまたはお電話にてご連絡ください。

・福島大学基金ホームページ内からもお手続きが可能となっておりますので、以下 QR コードをご参照ください。

【お問い合わせ先】

福島大学 総務課 校友会・基金支援室 〒960-1296 福島市金谷川1番地
TEL:024-503-4991 / FAX:024-548-3180 / E-mail:kikin@adb.fukushima-u.ac.jp





- 全体の形は、福島大学の頭文字「F」を表している。
- 縦長の長方形は、大地（地域）にしっかりと根を下ろしている様を、上の二枚の葉は、伝統に根ざし発展する「人文社会学群」と新たに創設された「理工学群」及び「農学群」を表している。
- 下の葉は学生の新しい芽吹きを想起させる「若草色」上の葉は変化と調和を感じさせる「青のグラデーション」
- その躍動感あふれるフォルムには、軽やかで爽やかな風が吹き抜けるキャンパスで21世紀的課題に果敢に挑戦する人材を育成したいという願いが託されている。

【令和2年7月 発行】

福島大学総務課

〒960-1296 福島市金谷川1番地

TEL 024-548-5190

<https://www.fukushima-u.ac.jp/>